

Hシリーズ Hシリーズ⇒EH-150/EHVシリーズリプレイス支援機器



幅広いラインアップで お客様のニーズにお応えします。

日立プログラマブルコントローラ製品のラインアップ

オールインワンタイプ

小規模ドライブ機械・装置

簡易監視・情報通信端末



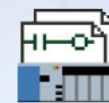
MICRO-EHV+ シリーズ



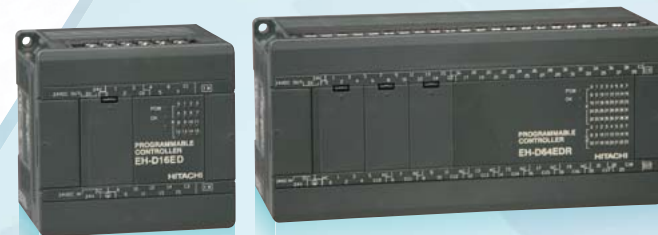
EHV-CODESYS
国際標準規格
IEC61131-3準拠



MICRO-EHV シリーズ



Control Editor



MICRO-EH シリーズ



LADDER EDITOR
for Windows®



プログラマブル表示器

- 自動車、家電、タイヤ、食品など各種生産設備の監視・制御。
- 上下水道、水処理、ごみ処理、飼料など
各種プラントの監視・制御。
- 工場・大型店舗などの状態監視・エネルギー監視。
- 立体駐車場、駅舎、アミューズメント施設など工場以外にも
幅広い分野で日立のPLCをご採用いただいています。

INDEX

[Hシリーズ]	[Hシリーズ⇒EH-150/EHVシリーズリプレース支援機器]
ラインアップ.....3	ラインアップ.....31
機器構成.....4	ハイブリッドベース.....32
仕様.....5	ハイブリッド入出力コントローラ.....33
入出力モジュール.....7	リプレース専用CPUモジュール.....33
アナログモジュール.....10	Hシリーズ16点/32点モジュール変換アダプタ.....35
通信機能モジュール.....11	Hシリーズ64点入出力変換ケーブル.....36
カウンタモジュール.....21	Hシリーズ互換リモートモジュール.....37
プログラミングソフトウェア.....22	ツイストペアケーブル通信モジュール.....39
製品一覧.....25	コンパクトリモートモジュール.....40
一般仕様.....28	コンパクトI/Oリンクモジュール.....42
寸法図.....29	製品一覧.....44

モジュールタイプ

各種生産設備・プラント

中～大規模FA・監視システム



EHV+ シリーズ



EHV シリーズ



EH-150 シリーズ

H シリーズ



四半世紀にわたって築き上げた ゆるぎない信頼と実績

複雑・大規模化する設備・装置への対応、厳しい品質管理要求への対応、設備稼働率向上への対応、膨大化する制御・生産管理データへの対応など生産現場のさまざまなニーズに対して、Hシリーズは四半世紀にわたってお応えしてきました。

HシリーズPLC



H-4010

H-4010

- ・プログラム容量最大96kステップ
- ・入出力点数最大7,936点(*)
- ・処理速度(基本命令) 0.05μs/命令



H-2002

H-2002

- ・プログラム容量最大48.5kステップ
- ・入出力点数最大7,936点(*)
- ・処理速度(基本命令) 0.4μs/命令



H-1002

H-1002

- ・プログラム容量最大48.5kステップ
- ・入出力点数最大6,528点(*)
- ・処理速度(基本命令) 0.9μs/命令



H-702

H-702

- ・プログラム容量最大15.7kステップ
- ・入出力点数最大5,120点(*)
- ・処理速度(基本命令) 0.9μs/命令



H-302

H-302

- ・プログラム容量最大7.6kステップ
- ・入出力点数最大4,416点(*)
- ・処理速度(基本命令) 0.9μs/命令

(*)64点I/Oモジュール+リモートI/Oモジュール使用時

そして今、そのDNAを次の世代へ継承

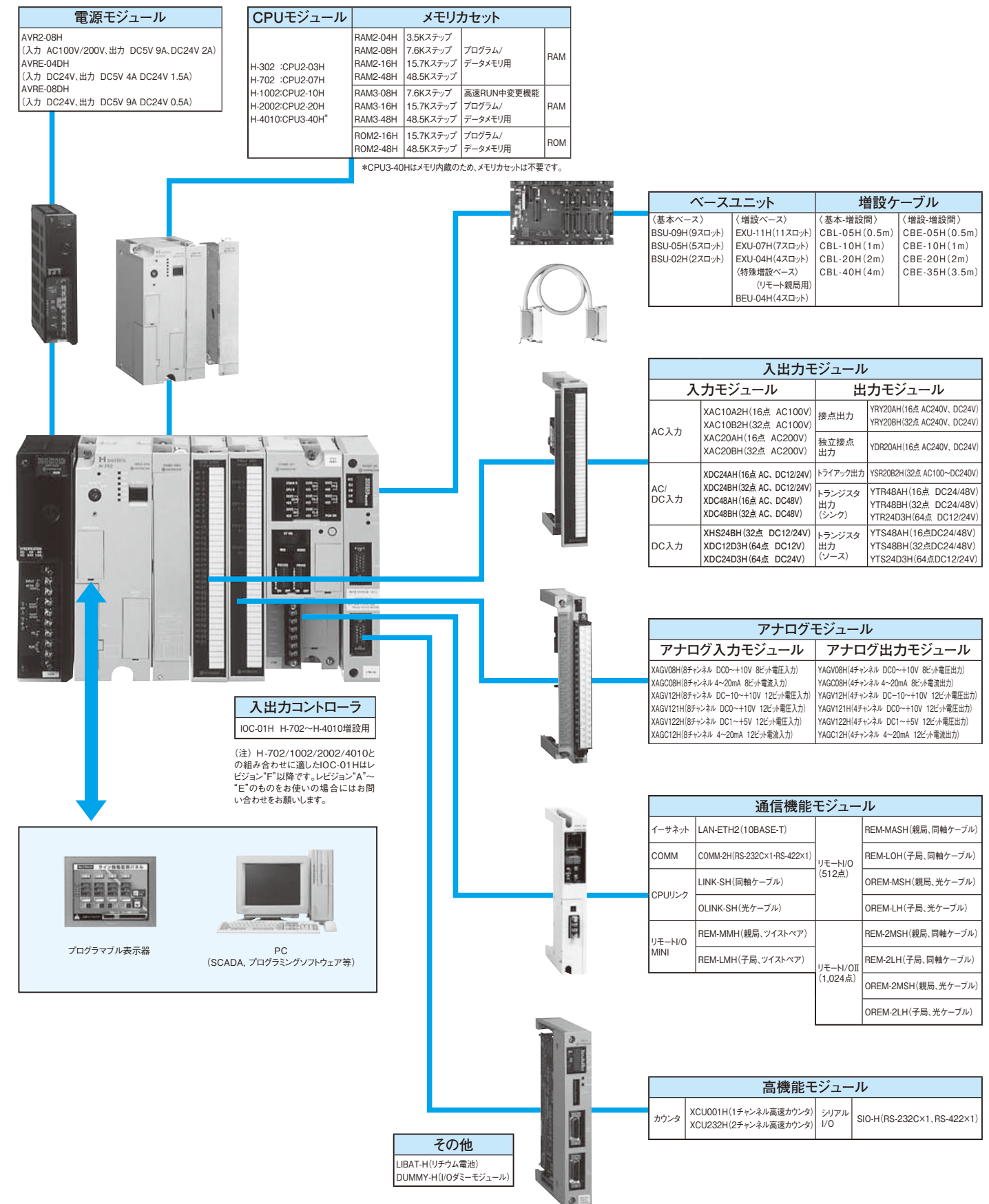
Hシリーズ⇒EH-150/EHVシリーズリプレース支援機器



EH-150/EHVシリーズ

詳しくは
P31へ

機器構成 (H-302/702/1002/2002/4010)



■CPU

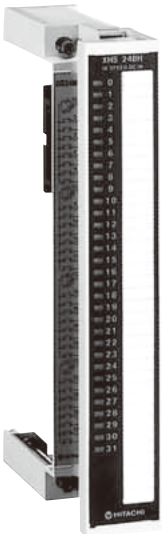
仕				様			
機 種		H-4010	H-2002	H-1002	H-702	H-302	
CPU型式		CPU3-40H	CPU2-20H	CPU2-10H	CPU2-07H	CPU2-03H	
増設可能段数		5	5	3	1	増設不可	
最大実装可能モジュール数		64	64	42	20	9	
入出力 点数	32点I/Oモジュール	最大2,048点		最大1,344点	最大 640点	最大 288点	
	64点I/Oモジュール	最大4,096点		最大2,688点	最大1,280点	最大 576点	
	64点I/Oモジュール +リモートI/OⅡ	最大7,936点		最大6,528点	最大5,120点	最大4,416点	
制 御 仕 様	命令語・ラダー図	CPU		32ビットシーケンス処理専用プロセッサ			
		処理方式		ストアードプログラムサイクリック方式			
		処理 速度	基本 命令	0.05 μ s/命令	0.4～4.1 μ s/命令	0.9～8.1 μ s/命令	
			応用 命令	0.25 μ s/命令～	3.6～2,690 μ s/命令	6.9～3,951 μ s/命令	
	ユーザ プログラムメモリ		最大96kステップ (RAM・FLASH内蔵)	最大48.5kステップ (RAM) 48.5kステップ (EPROM)	最大15.7kステップ (RAM) 15.7kステップ (EPROM)	最大7.6kステップ (RAM) 7.6kステップ (EPROM)	
	H I F L O W (フローチャート)	CPU		専用プロセッサ			
		処理方式		ストアードプログラムフローチャート方式			
		処理速度		ステートメント：数 μ s～数+ μ s 算術演算：数 μ s～数百 μ s/命令 (命令語・ラダーと同等)			
		ユーザ プログラムメモリ		最大29kステップ (RAM)	最大13.7kステップ (RAM)	最大5.6kステップ (RAM)	
演 算 処理仕様	命令語	基本命令	LD、LDI、AND、ANI、OR、ANB、ORB、OUT、MPS、MRD、MPPなど57種				
		応用命令	163種	算術 (+、－、×、÷、＝など)、高速スキャン、ジャンプ、サブルーチン、分配、抽出など124種			
	ラダー語	基本命令	┌─┐, ┌─┐┐, ┌─┐┐┐, ┌─┐┐┐┐, ┌─┐┐┐┐┐, ┌─┐┐┐┐┐┐, ┌─┐┐┐┐┐┐┐, ┌─┐┐┐┐┐┐┐┐ など57種				
		応用命令	163種	算術 (+、－、×、÷、＝など)、高速スキャン、ジャンプ、サブルーチン、分配、抽出など124種			
	H I F L O W	ステートメント	――	○, ○, ┐, ┐┐, ▼, ▲, ◇, ┐┐, + など24種			
応用命令		――	(), ≡, +, -, =, <, >, <=, >=, AND, OR, など15種				
入出力 処理仕様	外部 入出力	入出力処理方式	ダイレクト処理/ リフレッシュ処理	ダイレクト処理			
		32点I/Oモジュール	最大2,048点		最大1,344点	最大 640点	最大 288点
		64点I/Oモジュール	最大4,096点		最大2,688点	最大1,280点	最大 576点
		最大点数	4,096点 (256ワード) ダイレクト処理				
		64点I/Oモジュール+ リモートI/OⅡ	最大7,936点		最大6,528点	最大5,120点	最大4,416点
	内部 入出力	ビット	2,048点 (R0～R7FF) (内特殊内部出力64点 (R7C0～R7FF) 含む)				
		ワード	最大50kワード (WR0～WRC3FF)			最大17kワード (WR0～WR43FF)	最大1kワード (WR0～WR3FF)
		CPUリンク	16,384点1,024ワード×2ループ (L0～L3FFF / L10000～L13FFF W0～W3FFF / WL1000～WL13FF)				
		リモート入出力	1,024点 (64ワード) または、512点 (32ワード) ×4ポート				
		ビット/ワード共用	16,384点1,024ワード (M0～M3FFF、WM0～WM3FF)				
		ネットワーク用入出力	32kワード (WN0～WN7FFF)	――			

			仕		様		
機 種			H-4010	H-2002	H-1002	H-702	H-302
項 目							
入出力処理仕様	タイマカウンタ	点 数	2,048点 (TD+CU) ただしTDは1,024点まで	512点 (TD+CU) ただしTDは256点まで			
		タイマ設定値	0～65、535s、タイムベース0.01、0.1、1s (0.01sは最大64点)				
		カウンタ設定値	1～65、535回				
	エ ッ ジ 検 出	512点 (DIF0～DIF511：10進) +512点 (DFN0～DFN511：10進)					
周辺機器	プ ロ グ ラ ム 方 式		命令語、ラダー図	命令語、ラダー図、フローチャート (HI-FLOW)			
	周 辺 機 能		命令語プログラマ (命令語によるプログラミング、オーディオカセット I/F 付き) ⑤H-4010はフローチャート使用不可。				
周辺機能	自 己 診 断		PC異常 (LED表示+接点出力)：マイコン異常、ウォッチドックタイマ異常、メモリ異常、プログラム異常、システムROM・RAM異常スキャンタイム監視、バッテリー電圧低下検出、電源異常時の保護、システムリセット、出力モジュールのヒューズ切れ検出 (接点出力を除く)				
	外 部 故 障 診 断		ウォッチドックタイマ命令				

■入出力コントロールモジュール(IOC-01H) 増設ベースにて入出力を拡張する際の、CPUとのインタフェースを行うモジュール。

項 目	仕 様	
実装ベース (増設ベース)	EXU-11H EXU-04H	EXU-07H BEU-04H
接続ケーブル	CBL-05H CBL-10H CBL-20H CBL-40H } (基本・増設間)	CBE-05H CBE-10H CBE-20H CBE-35H } (増設・増設間) (ケーブル長総和 最大4m)
ユニット No. 設定	1～5 (入出力コントロールモジュール前面セレクトスイッチの設定による)	
実装位置および占有スロット	増設ユニットのIOC用スロット	
内部消費電流	DC5V 0.22A	
適 用	H-702/1002/2002/4010	

(注) H-702、H-1002、H-2002、H-4010との組み合わせに適したIOC-01Hはレビジョン “F” 以降です。“A” ～ “E” のものをお使いの場合にはお問い合わせください。



仕様（入力モジュール）

項目 \ 型式		XAC10A2H	XAC20AH	XAC10B2H	XAC20BH	XDC24AH	XDC48AH	XDC24BH	XDC48BH	XHS24BH	XDC12D3H	XDC24D3H
入 力 種 別		AC入力					AC/DC入力				DC入力	
点数/モジュール 入出力占有点数		16点		32点		16点	32点				64点	
絶 縁 方 式		フォトカブラ絶縁					フォトカブラ絶縁					
入 力 電 圧		AC85V～132V	AC170V～264V	AC85V～132V	AC170V～264V	AC DC10V～30V	AC DC33V～60V	AC DC10V～30V	AC DC33V～60V	DC10.8～30V	DC10.8～15V	DC21.6～30V
入 力 電 流		9mA (100V 50Hz)	7mA (200V 50Hz)	9mA (100V 50Hz)	7mA (200V 50Hz)	5mA (AC/DC 12V) 10mA (AC/DC 24V)	6mA (AC/DC 48V)	5mA (AC/DC 12V) 10mA (AC/DC 24V)	6mA (AC/DC 48V)	5mA (DC 12V) 10mA (DC 24V)	3mA (DC 12V)	6mA (DC 24V)
入力インピーダンス		約 9kΩ (50Hz) 約15kΩ (60Hz)	約31kΩ (50Hz) 約26kΩ (60Hz)	約 9kΩ (50Hz) 約15kΩ (60Hz)	約31kΩ (50Hz) 約26kΩ (60Hz)	約2.2kΩ	約8.2kΩ	約2.2kΩ	約8.2kΩ	約2.2kΩ	約3.9kΩ	
動作 電力	最小 ON電圧	75V	150V	75V	150V	9V	28V	9V	28V	9V		18V
	最大 OFF電圧	30V	60V	30V	60V	3.6V	9V	3.6V	9V	3.6V		7.2V
入 力 応答時間	OFF→ ON	16ms以下					16ms以下				1ms以下	
	ON→ OFF	16ms以下					16ms以下				1ms以下	
入 力 表 示		LED表示					LED表示					
外 部 接 続		着脱式端子台					着脱式端子台				40ピンコネクタ×2 ^(※)	
コ モ ン 数		2		4		2		4				
極 性 ・ 論 理		なし・正論理					なし・正論理					
内 部 消 費 電 力 (DC5V)		0.12A		0.15A		0.12A	0.15A				0.3A	

※64点モジュール用外部コネクタは付属しておりません。(推奨品：ヒロセ電機製 HIF3BA-40D-2.54C, コネクタピン)

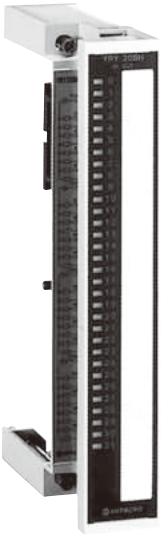
仕様（出力モジュール）

項目 \ 型式		YRY20AH	YDR20AH	YRY20BH	YSR20B2H	YTR48AH	YTR48BH	YTR24D3H	YTS48AH	YTS48BH	YTS24D3H
出 力 種 別		接点出力	独立接点出力	接点出力	トライアック出力	トランジスタ出力（シンクロード）			トランジスタ出力（ソースロード）		
点数/モジュール 入出力占有点数		16点	16点	32点	32点	16点	32点	64点	16点	32点	64点
絶 縁 方 式		フォトカブラ絶縁					フォトカブラ絶縁				
定 格 負 荷 電 圧		AC240V/DC24V			AC85V～264V	DC21V～60V		DC10V～30V	DC21V～60V		DC10V～30V
最 小 圧 開 閉 電 流		DC5V1mAただし、大電流開閉後を除く			10mA	1mA					
最 大 負荷電流	1点	2A（COSφ＝1） 0.5A（COSφ＝0.4）			1.7A	2.0A	0.7A	0.1A	2.0A	0.7A	0.1A
	1コモン	5A（COSφ＝1）	同上	5A（COSφ＝1）	3.2A	5A	2A	0.4A	5A	2A	0.4A
出 力 応答時間	OFF→ ON	7ms以下			1ms以下	0.3ms以下					
	ON→ OFF	12ms以下			1/2サイクル+1ms以下	1ms以下					
出 力 表 示		LED表示					LED表示				
外 部 接 続		着脱式端子台			着脱式端子台			40ピンコネクタ×2※1	着脱式端子台		40ピンコネクタ×2※1
漏 れ 電 流		1mA （AC264V 60Hz）		なし	2mA （AC200V 60Hz）	0.1mA					
コ モ ン 数		4	16	4		2	4		2	4	
サ ー ジ 除 去 回 路		バリスタ		なし	バリスタ	ダイオード					
ヒ ュ ー ズ		なし			5A	7.5A	5A	3.2A	7.5A	5A	3.2A
適応ヒューズ形式		なし			HP50※2 （AC/DC250V,5A）	MP75※3 （AC/DC125V, 7.5A）	MP50※3 （AC/DC125V, 5A）	DM32※3 （AC/DC125V, 3.2A）	MP75※3 （AC/DC125V, 7.5A）	MP50※3 （AC/DC125V, 5A）	DM32※3 （AC/DC125V, 3.2A）

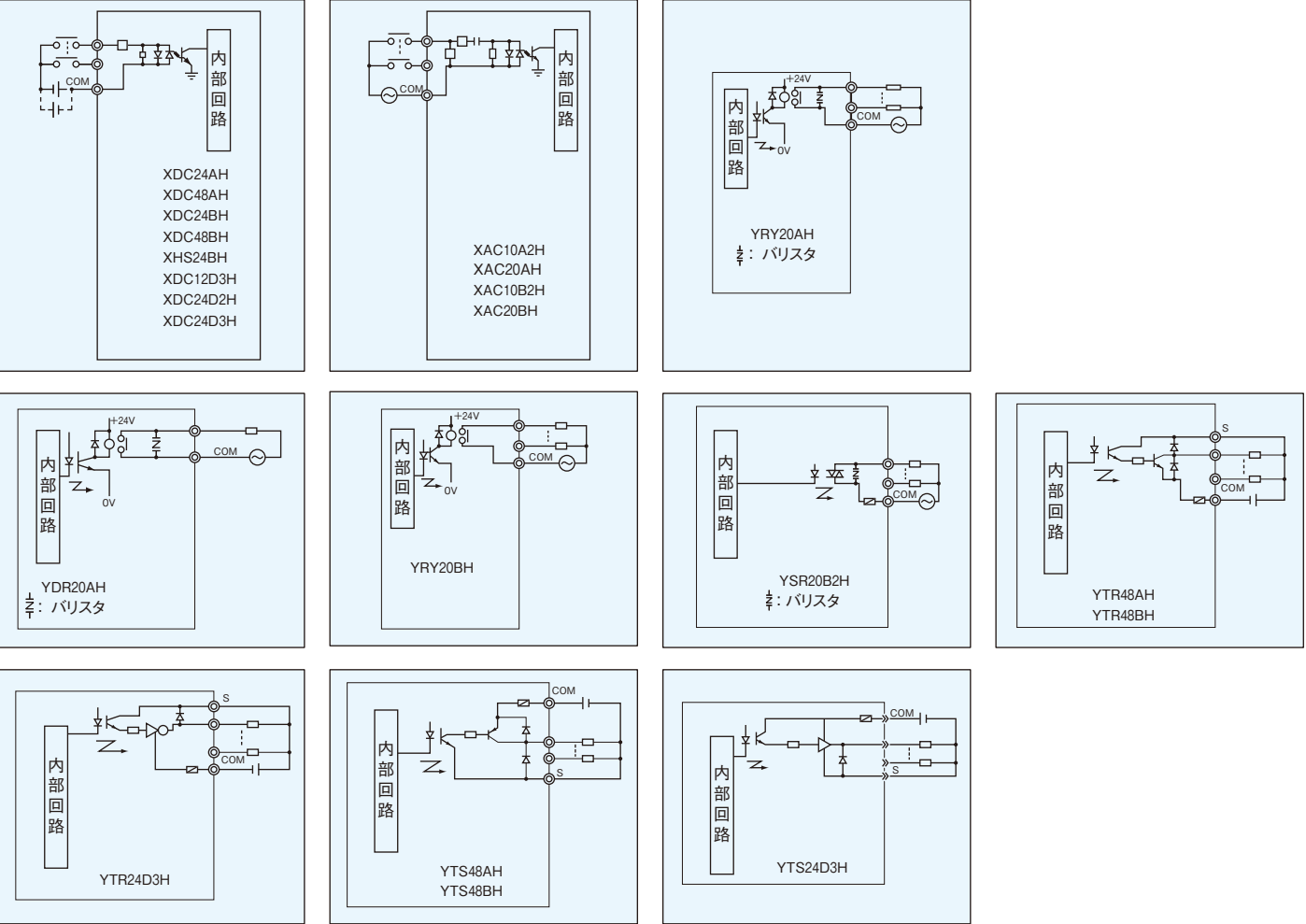
※1. 64点モジュール用外部コネクタは付属しておりません。(推奨品：ヒロセ電機製 HIF3BA-40D-2.54C, コネクタピン)

※2. メーカー：ウィックマン

※3. メーカー：大東通信工業(株)



回路構成及び外部配線



電源モジュール仕様（H-302/702/1002/2002/4010）

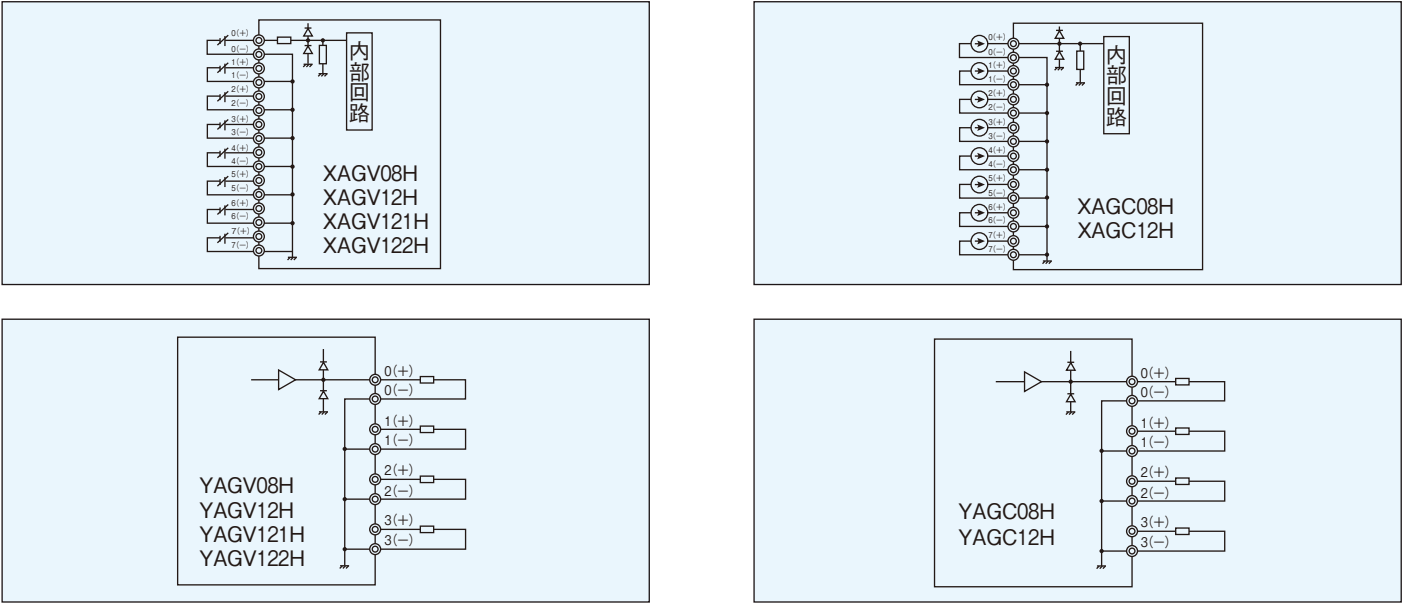
項目		型式	AVR2-08H	AVRE-04DH	AVRE-08DH
入 力	電 圧	AC 85～135V AC170～246V（切り替え）	DC19.2～30V		
	周 波 数	47～63Hz	—		
	消費電力	150VA			
出力電流容量	5V	9A	4A	9A	
	24V	2A	2.0A	1.0A	

電源モジュール使用上の注意

・Hシリーズ電源モジュールは、DC5VとDC24V系の出力容量の合計が60Wまでの範囲でご使用ください。

〈例〉
DC5Vを4Aご使用なら、
DC24Vは1.6A以下でご使用ください。
 $5V \times 4A + 24V \times 1.6A < 60W$

回路構成および外部配線



仕様

項目	型式	XAGV08H	XAGC08H	XAGV12H	XAGV121H	XAGV122H	XAGC12H	YAGV08H	YAGC08H	YAGV12H	YAGV121H	YAGV122H	YAGC12H
対 象 機 種		H-302/702/1002/2002/4010											
入 出 力 機 種		アナログ入力						アナログ出力					
電 圧 ・ 電 流 範 囲		DC0～10V	4～20mA	DC-10～+10V	DC0～10V	DC1～5V	4～20mA	DC0～10V	4～20mA	DC-10～+10V	DC0～10V	DC1～5V	4～20mA
分 解 能		8ビット		12ビット				8ビット		12ビット			
変 換 時 間		5ms											
総 合 精 度		±1%		±0.5%				±1%		±0.5%			
入力点数・出力回路数		8チャンネル/モジュール						4チャンネル/モジュール					
絶 縁	チャンネル・内部回路	フォトカプラ絶縁											
縁	チャンネル相互間	非絶縁											
入カインピーダンス または外部負荷抵抗		100kΩ	100Ω	100kΩ			100Ω	10kΩ	0～500Ω	10kΩ以上		0～500Ω	
入出力占有点数		128点						64点					
外 部 配 線 長		20m	50m	20m			50m	20m	50m	20m		50m	
内 部 消 費 電 流		0.06A (DC5V) 0.07A (DC24V)	0.06A (DC5V) 0.07A (DC24V)	0.06A (DC5V) 0.17A (DC24V)			0.06A (DC5V) 0.19A (DC24V)	0.07A (DC5V) 0.1A (DC24V)	0.07A (DC5V) 0.17A (DC24V)	0.06A (DC5V) 0.1A (DC24V)		0.06A (DC5V) 0.19A (DC24V)	

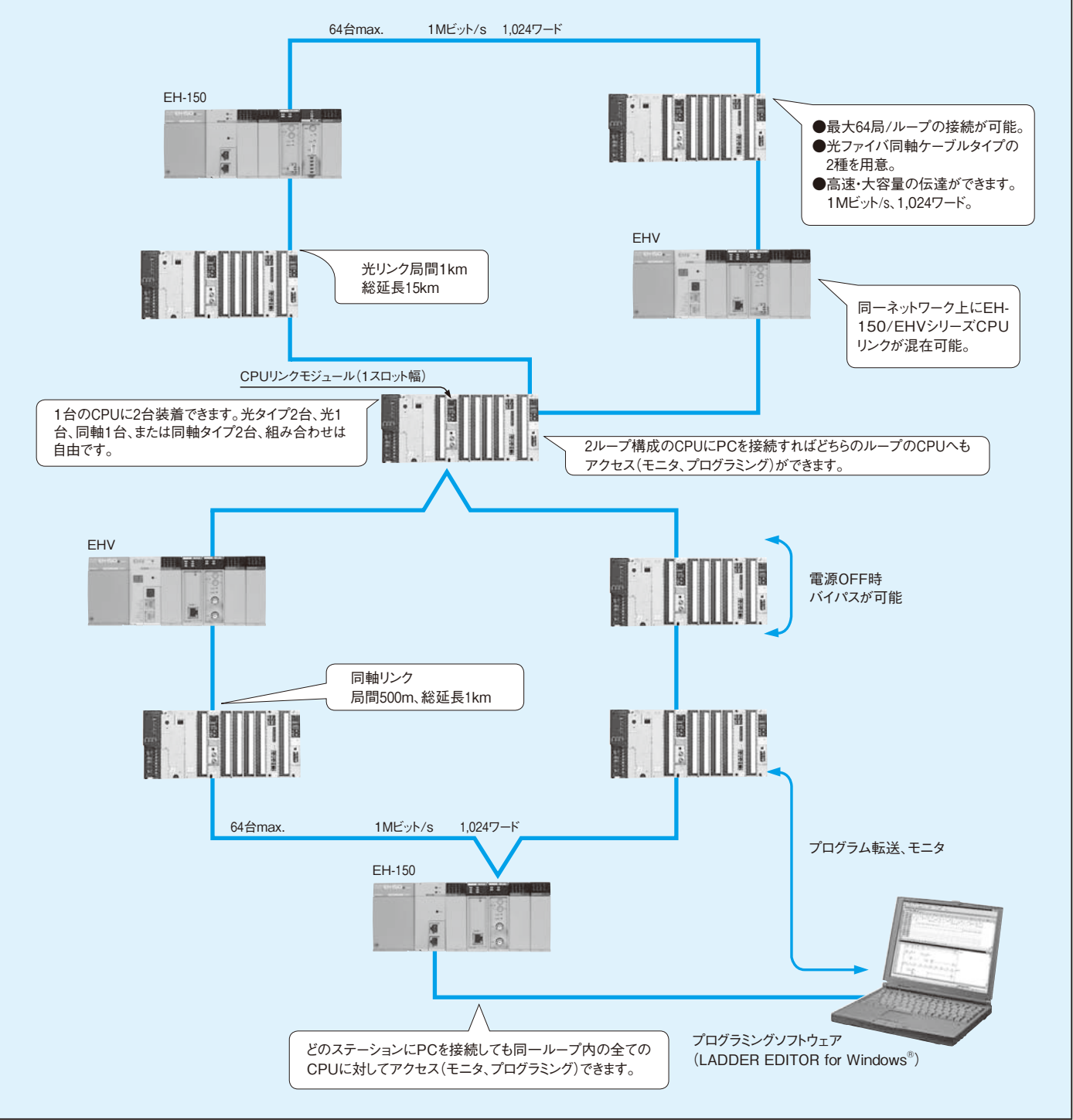
CPUリンクモジュール



- 1システム内のすべてのCPUが周辺装置と接続可能です。また、ループ上のどのCPUへのアクセス（モニタ、プログラミング）が可能です。
- 1つのループに最大64台のCPUが接続可能です。
- バイパスリレー内蔵のコネクタボックスにて1台のステーション（基本ユニット）の電源を落としてもループの動作は継続します（光リンクは、別電源DC5Vをバイパスカセットに給電）。
- 同一ネットワーク上に EH-150/EHVシリーズ CPUリンクが混在使用可能です。

項 目		型 式	CPUリンク	
			同軸リンク（LINK-SH）	光リンク（OLINK-SH）
対象機種			H-302/702/1002/2002/4010	
機能仕様	リンクモジュール接続数		max.64台/システム	
	搭 載 台 数		max.2 台/CPU（2ループ/CPU）	
	リ ン ク 点 数		1024ワード/ループ（2048ワード/2ループ）（停電記憶不可）	
	デ ー タ 受 け 渡 し 方 式		共有データエリア方式	
	データエリアの割り付け送受信区別		プログラミングソフトウェアにてパラメータ設定	
	ステーションナンバー指定		0～63ロータリースイッチにて指定	
	伝 送 速 度		1.0M ビット/S	
	伝 送 方 式		半2重シリアル伝送、フレーム同期	
	通 信 形 式		トークンパッシング	
	変 調 方 式		ベースバンド	
	リ フ レ ッ シ ュ 時 間		64局接続1024ワード転送時…約390ms	
	エ ラ ー チ ェ ッ ク		CRC、オーバーランチェック、タイムアウト、断線パラメータエラー（ステーションNo.の二重指定、リンクエリアの重なりなど）	
	自 己 診 断		システムROM/RAMチェック、ウォッチドッグタイマチェック、伝送ループバックチェック	
伝送路仕様	伝 送 路 形 式		ループ形	
	ケーブル長	ステーション間	500m max.	1km max.
		総 延 長	1000m max.	15km max.
	異 常 局 処 理		バイパス方式	バイパス方式（DC5Vを外部から給電）
使 用 ケ ー ブ ル		2重シールド付き同軸ケーブル 5D-2V、BNCコネクタ（特性インピーダンス 50Ω）	CA7103G（単芯）/CA7003G（2芯）（CSI-200/220又はSGI-185/230、JIS F06形 /F08形コネクタ）	
実装	入 出 力 占 有 点 数		0点（1スロット）	
	内 部 消 費 電 流		DC5V 0.8A	

CPUリンク使用システム構成



リモートI/Oモジュール



特長

- 1台のCPUにリモートI/O とリモートI/OⅡ合わせて最大4台の親局を実装可能。合計4,096点まで拡張できます。
- 同軸リモートI/Oについてはバイパス機能付き（バイパスリレー内蔵コネクタボックス付き）ですので回路途中の子局電源を落しても、他子局との通信継続が可能です。
- システム立ち上げ・メンテナンス効率向上…リモート子局にPC（プログラミングソフトウェア）を継続し、親局CPUのモニタが可能です。
- リモートI/O 親局でトラブル個所が容易にわかります…親局表示器でエラーステーションのエラー内容がモニタ可能です。

■リモートI/O（512点）（注1）

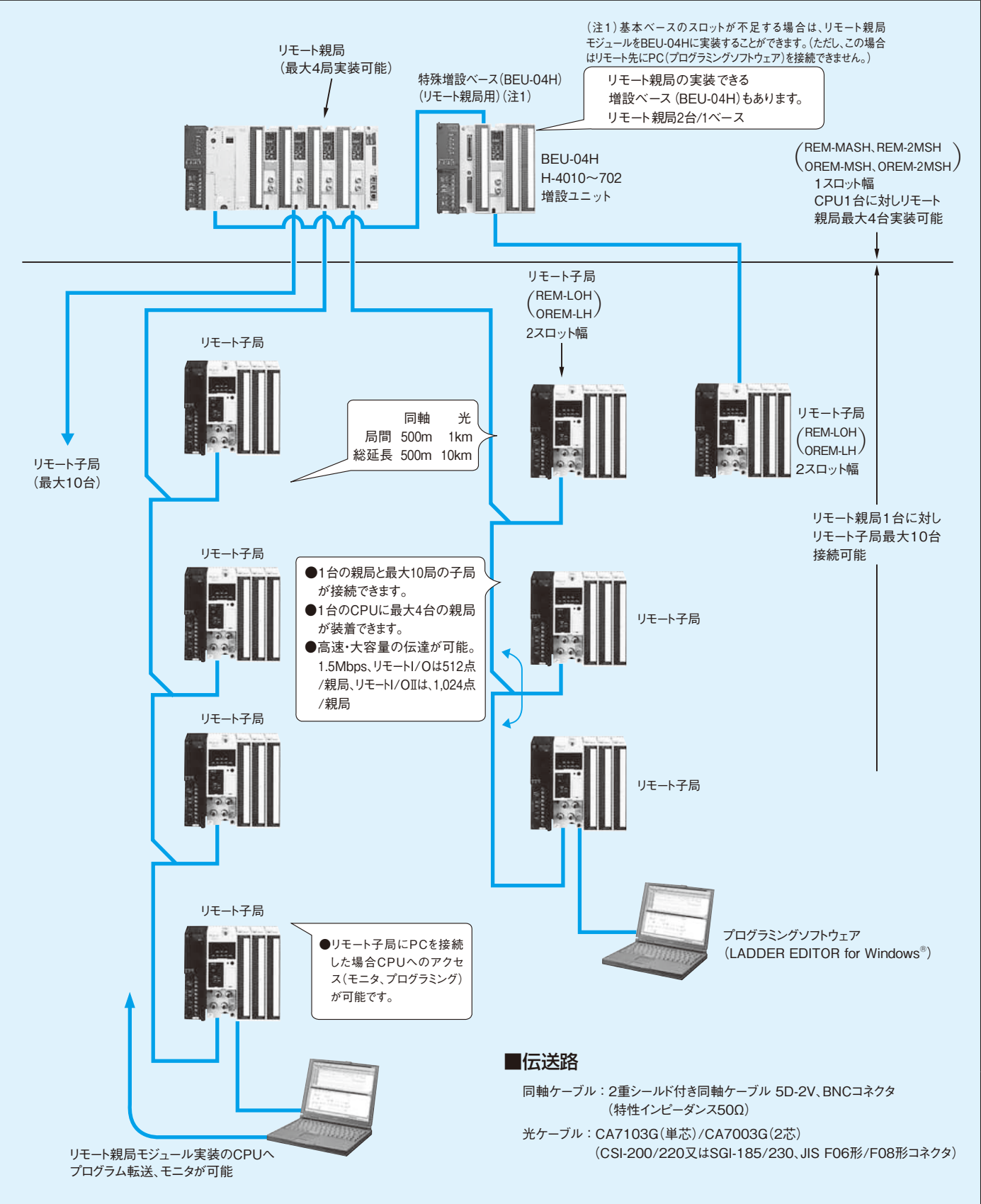
項目 \ 型式		同軸リモートI/Oモジュール		光リモートI/O モジュール	
		親局 (REM-MASH)	子局 (REM-LOH)	親局 (OREM-MSH)	子局 (OREM-LH)
対 象 機 種	H-302/702/1002/2002/H-4010				
	搭載および接続台数		4台/CPU max.	10台/ 親局 max.	4台/CPU max.
	最大リモート点数		512点/32ワード (1親局当たり)		
	伝 送 速 度		1.5Mビット/s		
	伝 送 方 式		半二重シリアル伝送フレーム同期		
	変 調 方 式		ベースバンド		—
	リフレッシュ時間		約15ms/512点 (子局接続台数10台の時)		
	エ ラ ー チェック		CRC	CRC、サムチェック	CRC
仕 様	自 己 診 断		システムROM/RAMチェック ウォッチドッグタイマチェック 伝送ループバックチェック		
	ケーブル長	局 間	500m max.		1km max.
		総延長	500m max.		10km max.
	伝送路仕様	異 常 局 処 理		—	バイパス方式
使 用 ケーブル		2重シールド付き同軸ケーブル 5D-2V、BNC コネクタ (特性インピーダンス 50 Ω)		CA7103G (単芯) /CA7003G (2芯) (CSI-200/220 又は SGI-185/230、JIS F06形 /F08形コネクタ)	
実 装		0点 (親局：1スロット、子局：2スロット)			
実 装	入 出 力 占 有 点 数				
	内 部 消 費 電 流		DC5V 0.6A	DC5V 1.2A	DC5V 0.6A DC5V 1.2A

■リモートI/OⅡ（1,024点）（注1）

項目 \ 型式		同軸リモートI/Oモジュール		光リモートI/O モジュール	
		親局 (REM-2MSH)	子局 (REM-2LH)	親局 (OREM-2MSH)	子局 (OREM-2LH)
対 象 機 種	H-302/702/1002/2002/H-4010				
	搭載および接続台数		4台/CPU max.	10台/ 親局 max.	4台/CPU max. 10台/親局 max.
	最大リモート点数				
	1,024点/64ワード (1親局当たり)				
	伝 送 速 度				
	1.5Mビット/s				
	伝 送 方 式				
	半二重シリアル伝送フレーム同期				
仕 様	変 調 方 式		ベースバンド		—
	リフレッシュ時間				
	約15ms/1,024点 (子局接続台数10台の時)				
	エ ラ ー チェック		CRC	CRC、サムチェック	CRC CRC、サムチェック
伝送路仕様	自 己 診 断		システムROM/RAMチェック ウォッチドッグタイマチェック 伝送ループバックチェック		
	ケーブル長	局 間	500m max.		1km max.
		総延長	500m max.		10km max.
	異 常 局 処 理		—	バイパス方式	— バイパス方式 (DC5Vを外部から供給)
	使用 ケーブル およびコネクタ		2重シールド付き同軸ケーブル 5D-2V、BNC コネクタ (特性インピーダンス 50 Ω)		CA7103G (単芯) /CA7003G (2芯) (CSI-200/220 又は SGI-185/230、JIS F06形 /F08形コネクタ)
実装	入出力占有点数		0点 (親局：1スロット、子局：2スロット)		
	内部消費電流		DC5V 0.6A	DC5V 1.2A	DC5V 0.6A DC5V 1.2A

（注1）リモートI/OⅡの親局（REM-2MSH、OREM-2MSH）の下にリモートI/Oの子局（REM-LOH、OREM-LH）は使用できません。また反対にリモートI/Oの親局（REM-MASH、OREM-MSH）の下にリモートI/OⅡの子局（REM-2LH、OREM-2LH）は使用できません。

リモートI/O使用システム構成



リモートI/O MINIモジュール



特長

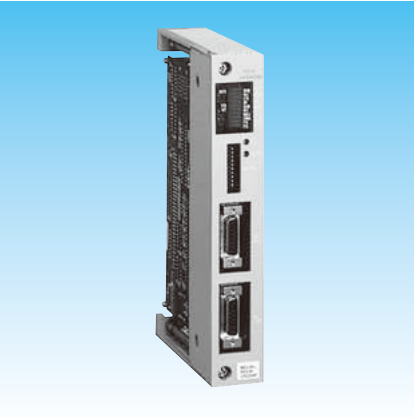
- ツイストペアケーブルの接続で配線作業工数が低減され、省配線が実現できます。
- データ転送方法を選択することにより、大容量入出力点数から高速少容量点数まで数々のシステムに対応可能です。
- 子局の電源の入り切りは自在に行え、ほかの子局との通信継続が可能です。
- H-302～H-4010同士の通信の場合、子局（REM-LMH）にもCPUを実装しますのでCPU間通信としても使用できます。

仕様

項目	型式	REM-MMH（親局）/REM-LMH（子局）
対象機種		H-302/702/1002/2002/4010
伝送方法		半二重シリアル、フレーム同期
伝送速度		768kビット/s
伝送点数		入力1024点、出力1024点、64ワードペア
絶縁・変調方法		トランス絶縁バイポーラパルス変調方式

項目	型式	REM-MMH（親局）/REM-LMH（子局）
伝送エラーチェック		反転二連送によるチェック
伝送リフレッシュ時間		約3～45ms ただし使用チャンネル数および子局の種類により変化
親局モジュール実装可能台数		最大32モジュール（各形式の実装可能スロット数により決まります。）
子局数		最大12台/親局1モジュール
内部消費電流		DC5V 0.15A

シリアルI/Oモジュール



特長

- シーケンスプログラムによる通信ができます。専用手順を持たない無手順方式ですので、相手の機器に合わせた通信ができます。
- 2ポートが独立して通信可能。RS-232Cインターフェース（準拠）、長距離通信、1：N通信に欠かせないRS-422インターフェース（準拠）の2ポートを持ち、それぞれ独立して通信させることができます。
- 自在な実装配置が可能。HシリーズPLCのI/Oモジュールとして、1台のCPUにI/O点数制限いっぱいまで何台でも実装できます。またCPU（基本ユニット）から遠く離れたリモート先にも実装が可能です。
- 便利なデータ変換機能付。PLC内データ（バイナリデータ）を自動的に通信符号としてアスキーコードに変換できます。

仕様

項目	型式	SIO-H
対象機種		H-302/702/1002/2002/4010
シリアルポート数		RS-232C、RS-422 各1ポート（フォトカブラ絶縁）
通信形態		1：1（RS-232C）/1：n（最大32）（RS-422）
伝送速度		300、600、1200、2400、4800、9600、19200ビット/s （2ポート同時使用時は9600ビット/sまで）
送受信バッファ		（受信用512ワード、送信用256ワード）×2ポート（バックアップなし）
通信手順		無手順（ユーザーシーケンスプログラムによる）
データフォーマット		スタートビット1、データ長7または8、パリティ偶数/奇数/なし、ストップビット1または2をDIPスイッチで設定（2ポート共通）
占有点数/スロット数		128点/1スロット
伝送距離		15m（RS-232C）/500m（RS422）
消費電流		DC5V 1.0A

応用例

●ホストコンピュータとの通信

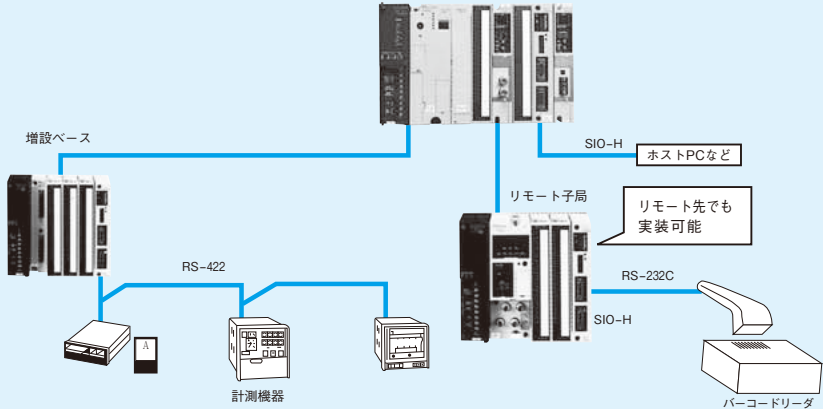
生産状況、設備稼働データ、システム異常情報など、生産現場の情報をホストコンピュータに知らせます。

●リモート先での情報端末接続

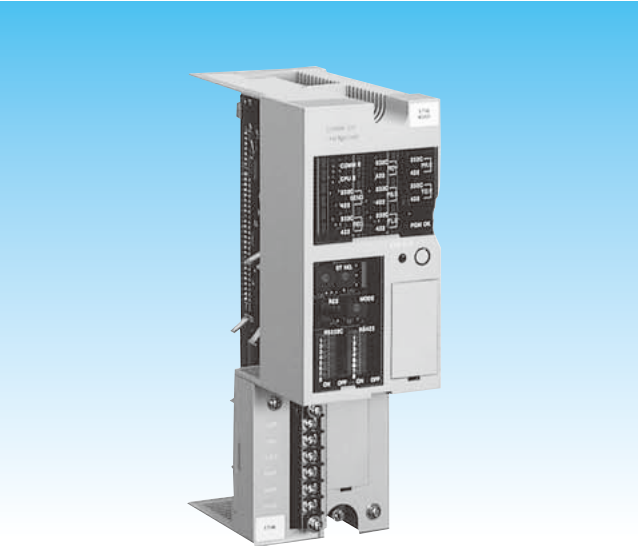
CPUが実装される制御盤から遠く離れた発送/受け入れ現場からもデータを収集、出力することができます。

●計測機器などからのデータ収集

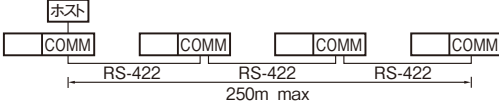
生産ラインに散らばる各種計測機器からデータを集めるため、RS-422インターフェースを用いて各機器をいもづる式（マルチドロップ接続）に接続します。



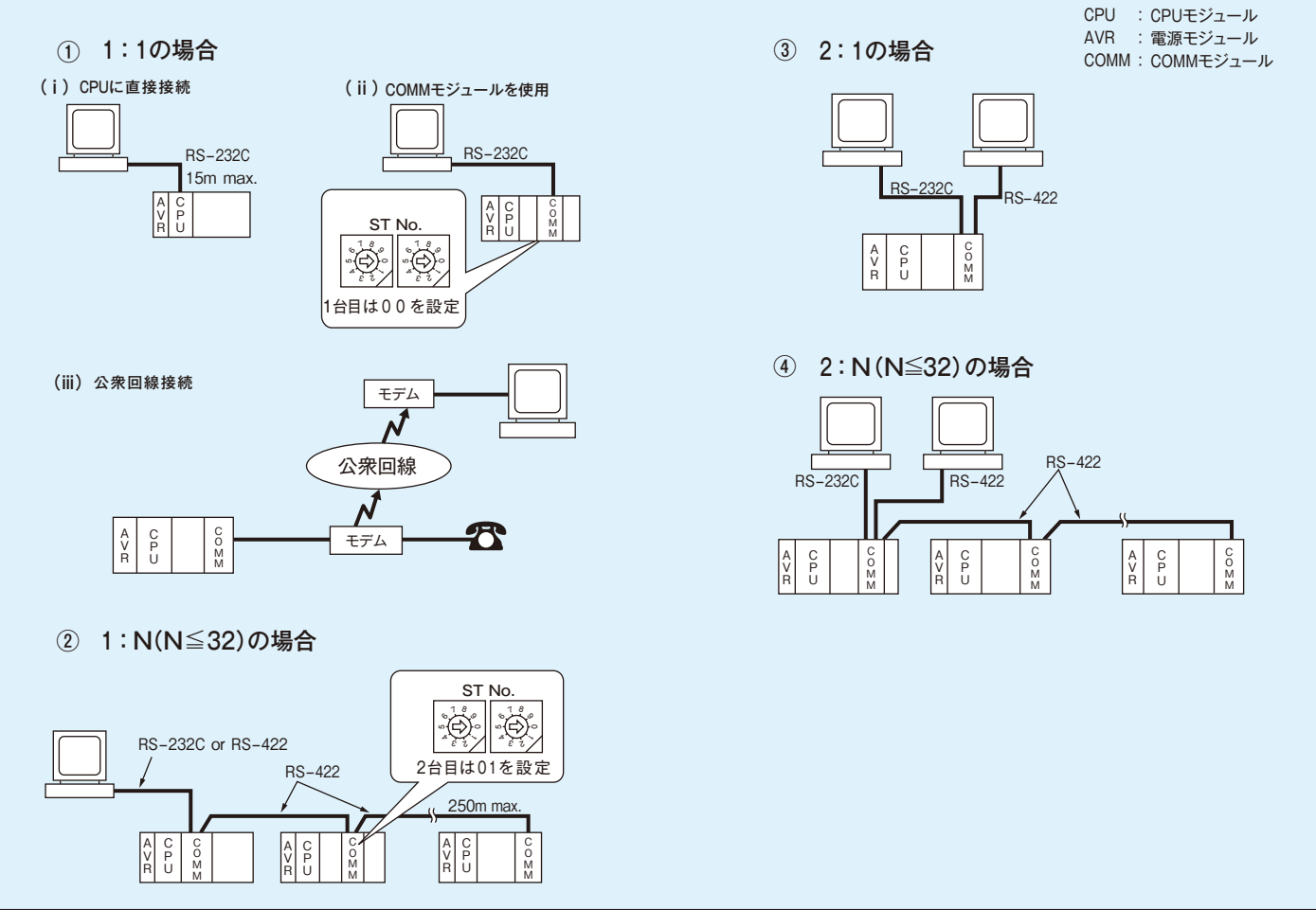
インテリジェントシリアルポートモジュール（上位通信モジュール）



- 特長
- 上位コンピュータとの通信用のモジュールです。パソコンや、FAコントローラとも接続可能です。
 - ホスト側からデータのアクセス（読み出し、書き込み）だけでなく、PLCのプログラムのモニタ、プログラミングも可能です。
 - 通信のネットワークアドレスを指定することで、自局だけでなくCPUリンク先のCPUまでアクセスが可能となり、動作状態の監視、モニタ、データ収集解析などが実現できます。
 - 通信手順はHシリーズ統一プロトコル（HI-PROTOCOL）により、CPUのポート、リモート子局と共通化されています。
 - RS-232CとRS-422により、1：1、1：Nのネットワークを構成することができます。

項 目		型 式	COMM-2H
対 象 機 種		H-302/702/1002/2002/4010	
機 能 仕 様	搭 載 台 数	1台/CPU	
	イ ン タ フ ェ ー ス	RS-232C 1ポート RS-422 1ポート	
	伝 送 速 度	300/600/1,200/2,400/4,800/9,600/19,200ビット/s（スイッチにより設定）	
	通 信 方 式	半二重方式	
	同 期 方 式	調歩同期方式	
	起 動 方 式	ホスト側コマンドによる片側起動方式（PLC側からの起動も可）	
	伝 送 方 式	直列伝送（ビットシリアル伝送）	
	伝 送 コ ー ド	ASCII	
	伝 送 コ ー ド 送 出 順 序	キャラクタ単位に下位ビット（2 ⁰ ）より送出	
	誤 り 制 御	パリティチェック（偶数または奇数、スイッチにより設定） オーバランチェック フレーミングチェック サムチェック（スイッチにより有無を指定）	
伝 送 単 位	メッセージ単位（可変調）		
最 大 メ ャ ャ ー ジ 長	503バイト/メッセージ（伝送制御キャラクタも含む）		
通 信 モ ー ド	非透過モード（バイナリデータは送受信不可）		
伝 送 路	接 続 形 態	RS-232C 1：1 RS-422 1：N（32台max）	
	使用ケーブルおよびコネクタ	RS-232C ツイストペア線—括シールド付き（15m max） RS-422 2対ツイストペア線シールド付き（250m max） 	
実 装	占 有 I / O 点 数	32点（入力16点、出力16点）、2スロット	
	内 部 消 費 電 流	DC5V 0.8A	

システム構成



インテリジェントイーサネットインタフェースモジュール



- 特長
- 汎用LANのため、接続可能機器が豊富です。
 - TCP/IPプロトコル、UDP/IPプロトコルをサポートしています。
 - 1台のモジュールで最大8本のコネクションが同時に張れます。
（メッセージ通信用に6本、タスクコード通信用に2本）

仕様

項 目 \ 型 式		LAN-ETH2
対 象 機 種		H-302/702/1002/2002/4010
実 装 台 数		最大2台/CPU（注）
伝 送 速 度		10Mbps
伝 送 形 態		IEEE802.3 準拠（10BASE-T：ツイストペア線）
通 信 プ ロ ト コ ル （トランスポート層 / ネットワーク層）		TCP/IP UDP/IP
機 能	メ ッ セ ー ジ 通 信	①Hシリーズアプリケーションプログラムによる、内部出力データの送信（クライアント機能） ②メッセージデータの受信（サーバー機能） ③Hシリーズアプリケーションプログラムによる、受信データの内部出力エリアへの書き込み
	タ ス ク コ ー ド 通 信	ホストコンピュータへのHシリーズタスクコードサービス提供（サーバー機能）
占 有 ス ロ ッ ト 数		1スロット幅（基本ベースのスロット0以外に実装可）
I / O 割 り 付 け		COMM
内 部 消 費 電 流		DC5V 1.2A

（注）LAN-ETH2はELINK-H2と合わせて合計2台 /1CPU実装できます。
また、メッセージ通信には多くの内部出力を使用しますので、H-1002（メモリ48Kワード）以上を推奨します。
Ethernetは、米国XEROX社の米国およびその他の国における登録商標です。

ELINK（イーサネットCPUリンク）通信モジュール



- 特長
- 大容量リンク
32kワード+16kビットの大容量リンクエリアを最大64台のPLC間で共有できます。大規模な監視・制御用途に最適です。
 - Ethernet準拠
HUBやLANケーブルなど一般に普及しているネットワーク機器を利用できます。
 - EHVシリーズ EH-ELKと混在可能
同一ネットワーク上にHシリーズとEHVシリーズが混在可能です。
 - 共通の設定ツール
EHVシリーズEH-ELKと共通の設定ツールでIPアドレスや通信パラメータを設定できます。設定ツールは弊社ホームページからダウンロードできます。

項 目 \ 型 式		ELINK-H2
対 象 機 種		H-302/702/1002/2002/4010
リ ン ク 接 続 数		最大64ノード
実 装 台 数		最大2台/CPU（注）
リ ン ク 点 数		最大32kワード+16kビット
デ ー タ 授 受 方 法		共有データエリア方式（WR, WN, R, M, Lエリア）
リ ン ク エ リ ア 設 定		パラメータ設定による
局 番 設 定		1～64 ディップスイッチまたはパラメータ設定にて指定
伝 送 速 度		10Mbps
伝 送 形 態		IEEE802.3準拠（10BASE-T：ツイストペア線）
伝 送 方 式		ベースバンド方式（マンチェスタ符号）
エ ラ ー チ ェ ッ ク		タイムアウト、パラメータエラー（LNN ダブリ等）
自 己 判 断		FLASHメモリサムチェック、RAMリードライト、ウォッチドッグ、伝送ループバック等

（注）ELINK-H2はLAN-ETH2と合わせて合計2台/1CPU実装できます。

EH-150シリーズ共通プログラミング環境

ラダー図/命令語エディタ LADDER-EDITOR for Windows®

Easy operation

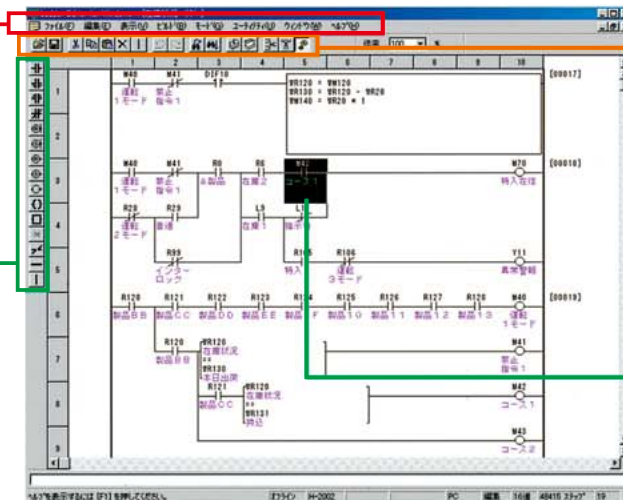
Windows® の操作環境で快適なプログラミング

LADDER EDITOR for Windows®は、アイコンやメニュー、マウスによるWindows®ならではの快適操作環境を実現しています。カットやコピー、ペースト、保存などがWindows®と同様の操作で行えるほか、各種コマンドの実行やシンボル入力もマウスで簡単に入力。プログラミング作業が効率よく行えます。また、ラダーシンボルの入力はマウスだけでなくキーボード入力も可能です。



メニューバー
LADDER EDITOR for Windows®のほとんどの操作は、プルダウンメニューから機能を選択するだけ。面倒なコマンド入力はありません。

シンボルバー
シンボルバーでシンボルを選択し、I/O No. など必要な情報を入力するだけでシンボルを入力できます。



ツールバー 再生、記録、カット、ペーストなどよく使う機能をアイコン化。クリックするだけの簡単操作です。

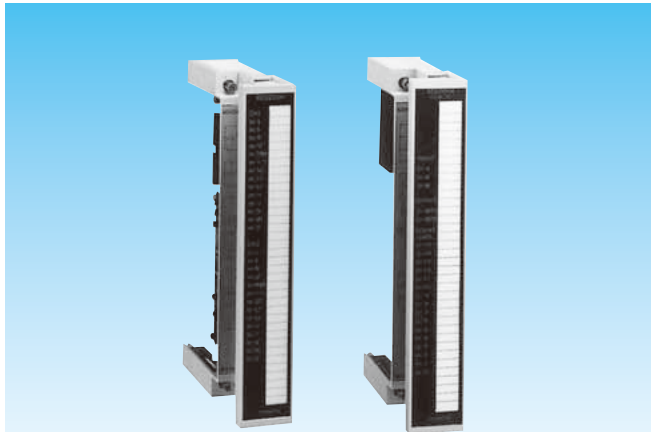
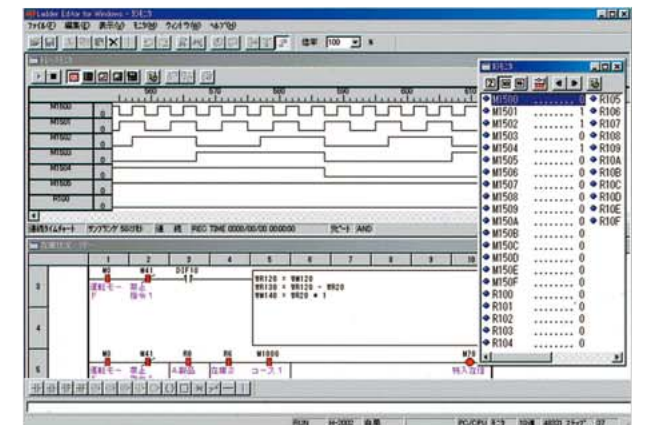
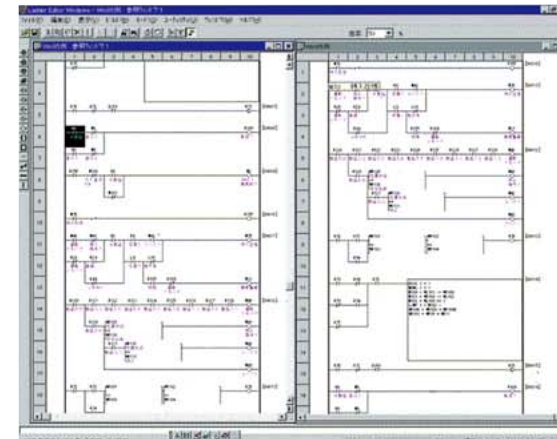
■表計算・ワープロソフトと共通の操作体系

再生	記録	カット	コピー
[Ctrl]+[Q]	[Ctrl]+[S]	[Ctrl]+[X]	[Ctrl]+[C]

作成中の回路は分かりやすい表示色で区別。通常、編集時、モニタ中で表示色をカスタマイズできます。

複数画面の同時表示で編集効率を大幅に向上

マルチウィンドウ機能により、2つのラダープログラムを同時に表示できます。例えば、他のプログラムを参照しながらの入力編集が可能で、プログラミングの効率を大きくアップできます。

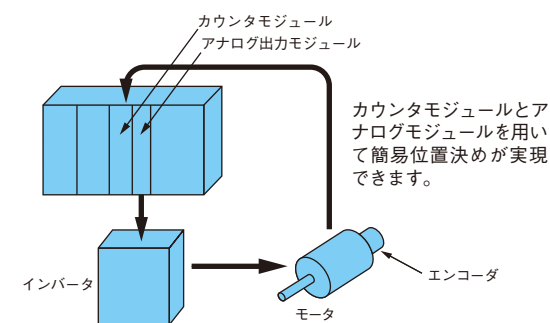


特長

- 1チャンネルカウンタ入力モジュール (XCU001H)
 - 最高50kHz、16ビット、12V、単相/2相パルスカウント
 - カウント値などのデータはダイレクトに読み出し可能 (特別な読み出し命令不要。)
 - エンコーダ用DC12V電源出力端子付き
- 2チャンネルカウンタ入力モジュール (XCU232H)
 - 最高100kHz/5kHz (切り替え)、32ビット、12V/24V、単相/2相パルスカウント
 - CPU停止中のカウントが可能。(CPU停止中のカウント可/不可設定可)
 - マーカ論理、正論理/負論理反転機能あり

システム構成例

カウンタモジュールによる簡易位置決め

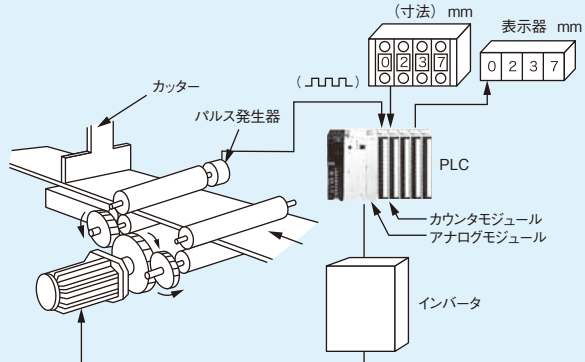


仕様

項目	型式	XCU001H	XCU232H
対象機種		H-302/702/1002/2002/4010	
チャンネル数		1	2
カウント数		0~65,535 (16ビット)	0~4,294,967,795 (32ビット)
最高カウント周波数		50kHz	100kHz/5kHz (切り替え)
カウント方式		2相パルスカウント方式 (アップ、ダウン) 単相正パルス、逆パルスカウント方式	
マーカ入力		負論理	正論理、負論理選択可
出力点数		2点	1点/チャンネル×2
占有点数/スロット数		128点/1スロット	
内部消費電流		DC5V : 0.3A DC24V : 0.1A	DC5V : 0.16A

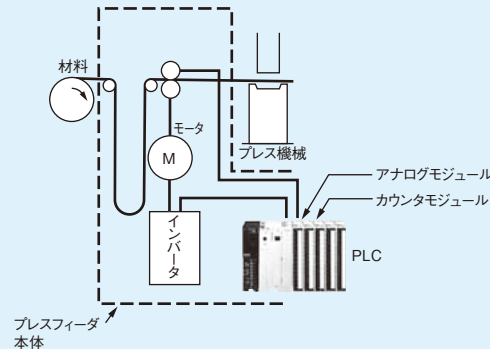
応用例

●切断機の制御



プログラマブルコントローラとインバータ、パルス発生器の組み合わせで、簡易位置決めとその寸法(mm)表示を行います。

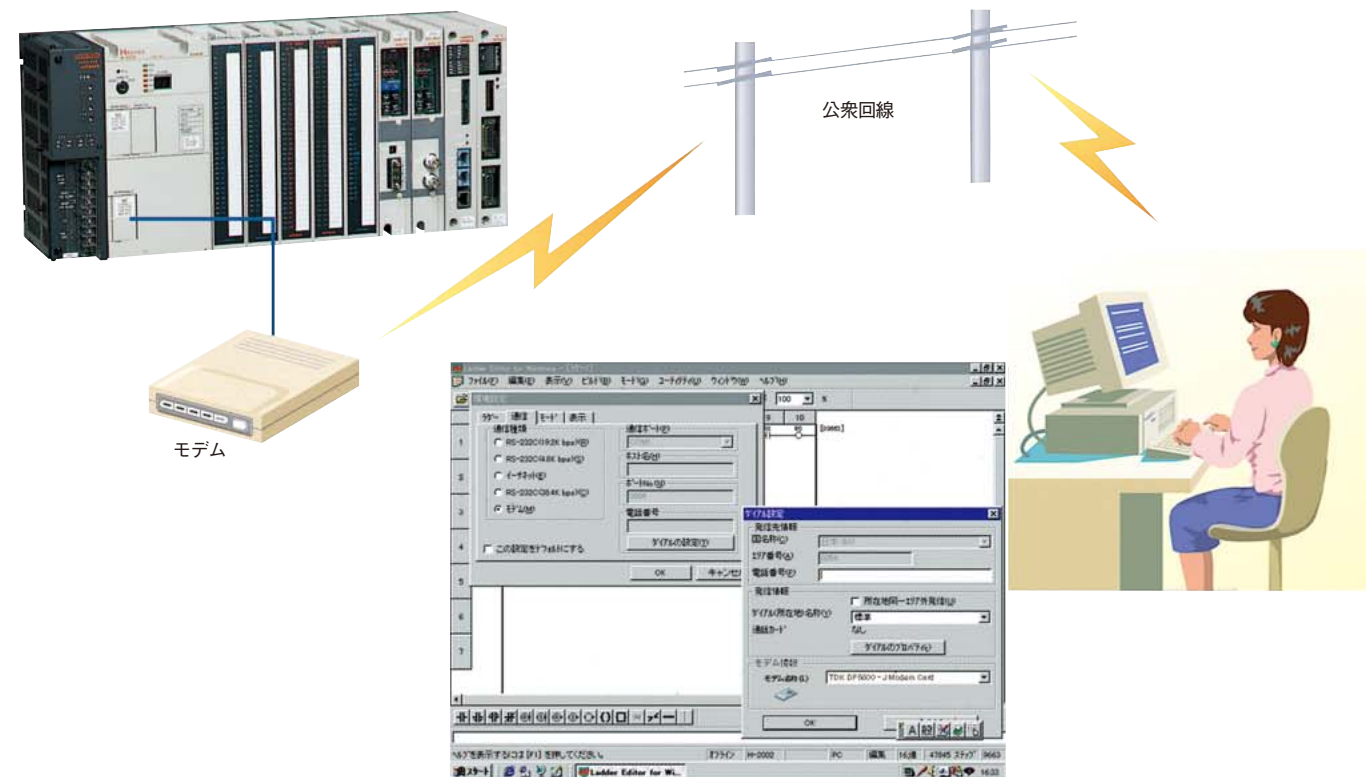
●プレスフィーダの制御



Networking

モデム接続で、遠隔地のHシリーズのモニタを実現

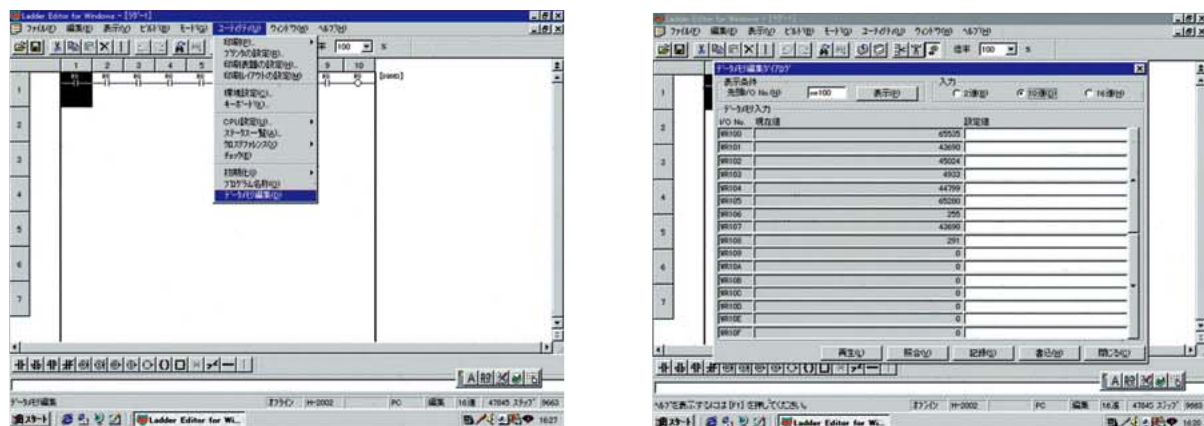
中央のプログラミング装置から、公衆回線を使って遠隔地のプログラマブルコントローラのプログラムをモニタし、システムの異常解析や各装置の運転状態の確認などが容易に行えます。



Efficient

データメモリのモニタ・編集機能をサポート

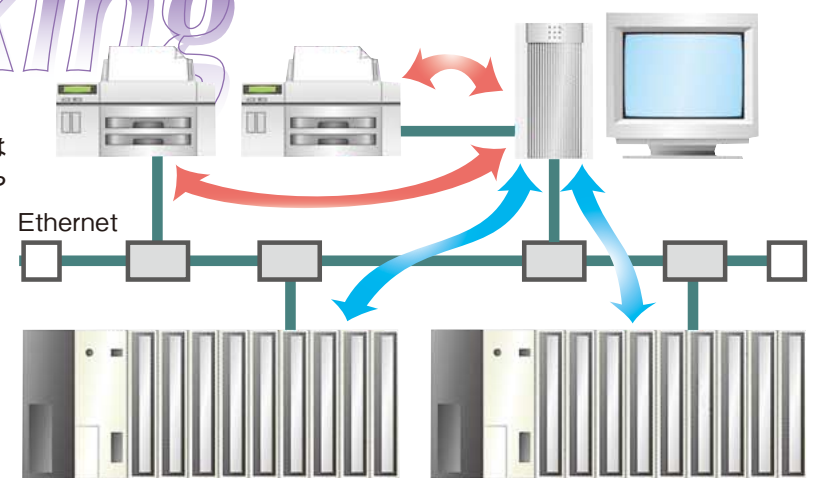
LADDER EDITORからデータメモリをモニタし、編集が行えます。
また、その内容をファイルに保存することができます。



Networking

パソコンからEthernet経由でHシリーズの操作を実現

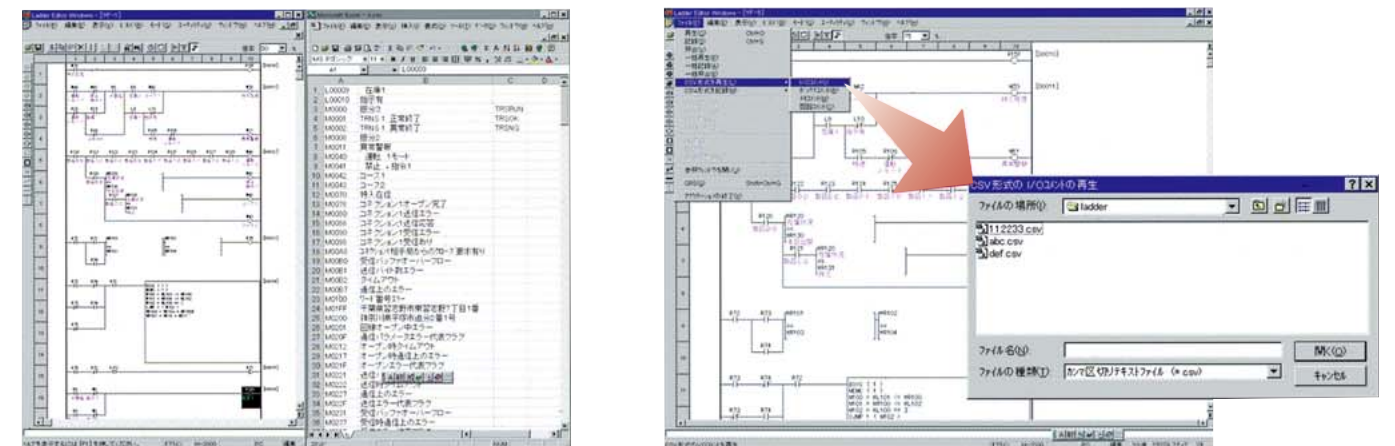
CPU周辺ポート、リモート子局、COMM-2Hへの接続はもちろん、Ethernet上のパソコンから、システムモードやモニタ、転送などCPUの操作が行えます。



Compatibility

コメントファイルのCSV形式でのインポート/エクスポート

I/Oコメントやボックスコメント、メモコメント、回路コメントをExcelなどの表計算ソフトで効率よく作成し、LADDER EDITOR for Windows®にインポートすることができます。また、LADDER EDITOR for Windows®で作成した各種コメントファイルをCSV形式で記録し、表計算ソフトにより自由なフォーマットで管理図面などを作成できます。



LADDER EDITOR for Windows® ライセンスパック

LADDER EDITOR for Windows®はマルチライセンスをご提供可能です。

- 企業・部門・部署単位での一括導入時や、複数ユーザでご使用いただく場合に
- ライセンス数は、5ユーザ、10ユーザ、30ユーザ、50ユーザの4種類(その他任意のライセンス数のご相談も承ります。)

型 式	仕 様
HLW-PC3L05	LADDER EDITOR 日本語版 ライセンスパック 5ユーザ
HLW-PC3L10	LADDER EDITOR 日本語版 ライセンスパック 10ユーザ
HLW-PC3L30	LADDER EDITOR 日本語版 ライセンスパック 30ユーザ
HLW-PC3L30	LADDER EDITOR 日本語版 ライセンスパック 50ユーザ

- ※1. ライセンスパックご購入時は必ずマスターディスクとなるLADDER EDITOR for Windows®をご購入ください。
すでにご購入されています、お客さまはご購入不要です。
ご使用可能数はライセンスパックのライセンス数+マスターディスク数となりますのでライセンス数+1となります。
- ※2. ライセンスパックにはマニュアルは同梱されておりません。ライセンスパックに添付されています「マニュアル購入申し込み書」にて別途ご購入ください。

製品一覧（H-302/702/1002/2002/4010）

品 名		型 式	仕 様	価格 (円)	消費電流 (A)		H-4010	H-2002	H-1002	H-702	H-302	
					DC5V	DC24V						
CPUモジュール		CPU3-40H	最大96kステップ、FLASHメモリ内蔵	¥716,000	3.85		○					
		CPU2-20H	最大48.5kステップ	¥485,000	2.75			○				
		CPU2-10H	最大48.5kステップ	¥378,000	2.05				○			
		CPU2-07H	最大15.7kステップ	¥188,000	2.05					○		
		CPU2-03H	最大7.6kステップ	¥129,000	2.05						○	
メモリ	RAM	RAM2-04H	3.5kステップRAM	¥53,000	消費電流は CPUモジュール に含まれています。		—	○	○	○	○	
		RAM2-08H	7.6kステップRAM	¥63,000			—	○	○	○	○	
		RAM2-16H	15.7kステップRAM	¥73,000			—	○	○	○		
		RAM2-48H	48.5kステップRAM	¥184,000			—	○	○			
		RAM3-08H	7.6kステップ 高速RUN中変更機能RAM	¥112,000			—	○	○	○	○	
		RAM3-16H	15.7kステップ 高速RUN中変更機能RAM	¥132,000			—	○	○	○		
		RAM3-48H	48.5kステップ 高速RUN中変更機能RAM	¥364,000			—	○	○			
	ROM	ROM2-16H	15.7kステップROM*2	¥85,000			—	○	○	○	○	○*1
		ROM2-48H	48.5kステップROM*2	¥220,000			—	○	○			
	メモリチップ		ROMC216H	15.7kステップ (ROM2-16H用ROM) *2			¥25,000	—	—	—	○	○
ROMC248H			48.5kステップ (ROM2-48H用ROM) *2	¥61,000	—		—	○	○	○	○	
増設入出力コントローラ		IOC-01H	入出力コントロールモジュール (1台/1増設ベース)	¥32,000	0.22		○	○	○	○		
基本ベース		BSU-09H	基本 9スロット実装ベース	¥58,000	—		○	○	○	○	○	
		BSU-05H	基本 5スロット実装ベース	¥37,000	—		○	○	○	○	○	
		BSU-02H	基本 2スロット実装ベース	¥28,000	—		○	○	○	○	○	
特殊増設ベース (リモート親局用)		BEU-04H	増設 4スロット実装ベース (リモート親局実装可)	¥33,000	—		○	○	○	○		
増設ベース		EXU-11H	増設 11スロット実装ベース	¥51,000	—		○	○	○	○		
		EXU-07H	増設 7スロット実装ベース	¥33,000	—		○	○	○	○		
		EXU-04H	増設 4スロット実装ベース	¥22,000	—		○	○	○	○		
電源モジュール		AVR2-08H	入力AC100～120V/AC200～240V (切替え)、出力 DC5V 9A、DC24V 2.0A	¥99,000			○	○	○	○	○	
		AVRE-04DH	入力DC24V、出力 DC5V 4A、DC24V 2.0A*3	¥97,000			○	○	○	○	○	
		AVRE-08DH	入力DC24V、出力 DC5V 9A、DC24V 1.0A*3	¥113,000			○	○	○	○	○	

*1 H-302の場合、ROM化できるプログラム容量は7.6kステップまでです。
*2 プログラムをROM化する場合には、別途パソコン、ROMライター、ROMライターソフトウェアが必要です。
*3 Hシリーズ電源モジュールは、DC5VとDC24V系の出力容量の合計が60Wまでの範囲でご使用ください。
（例）DC5Vを4Aご使用なら、DC24Vは1.6A以下でご使用ください。
5V×4A＋24V×1.6A<60W



CE規格/c-Tick規格対応品も準備しております。最寄りの営業所にご照会ください。

ご存知ですか

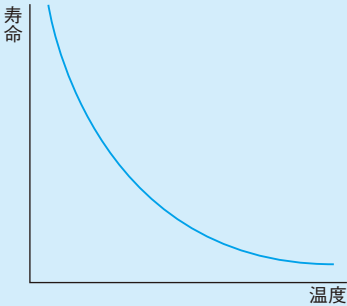
PLC（プログラマブル・コントローラ）では交流電源からIC電源を作成するために定電圧電源（電源モジュール）を使用しています。この中には、数多くの電解コンデンサが使われており、この電解コンデンサは内部で化学反応が行われていますので、周囲温度によって寿命は極端に変わります。

一般に電解コンデンサには温度が10℃高くなると寿命は1/2となり、10℃低くなると寿命は2倍に伸びるという特性があり、電源モジュールの寿命を支配しています。

電源モジュールの寿命は、定格周囲温度において通常約5年を基準として交換が必要となりますので予備品を考慮のうえ、ご使用ください。

寿命を伸ばすために、電源モジュールに対する通風、周囲温度を考慮した実装をお願い致します。

「アルミ電解コンデンサの推定寿命」



この誌面に掲載の価格には、消費税は含まれておりません。

製品一覧（H-302/702/1002/4010）

品 名	型 式	仕 様	価格 (円)	消費電流 (A)		H-4010	H-2002	H-1002	H-702	H-302
				DC5V	DC24V					
ケーブル (基本ー増設)	CBL-05H	長さ 0.5m	¥14,000	—		○	○	○	○	
	CBL-10H	長さ 1.0m	¥18,000	—		○	○	○	○	
	CBL-20H	長さ 2.0m	¥22,000	—		○	○	○	○	
	CBL-40H	長さ 4.0m	¥26,000	—		○	○	○	○	
ケーブル (増設ー増設)	CBE-05H	長さ 0.5m	¥14,000	—		○	○	○		
	CBE-10H	長さ 1.0m	¥18,000	—		○	○	○		
	CBE-20H	長さ 2.0m	¥22,000	—		○	○	○		
	CBE-35H	長さ 3.5m	¥26,000	—		○	○	○		
モジュールカバー接続ケーブル	CB-LEDH	長さ 4.0m	¥6,000	—		○	○	○	○	○
入力モジュール	XAC10B2H	32点 AC100V 入力	¥70,000	0.15		○	○	○	○	○
	XAC20BH	32点 AC200V 入力	¥80,000	0.15		○	○	○	○	○
	XAC10A2H	16点 AC100V 入力	¥43,000	0.12		○	○	○	○	○
	XAC20AH	16点 AC200V 入力	¥51,000	0.12		○	○	○	○	○
	XDC24BH	32点 AC、DC12/24V 入力	¥61,000	0.15		○	○	○	○	○
	XDC48BH	32点 AC、DC48V 入力	¥61,000	0.15		○	○	○	○	○
	XDC24AH	16点 AC、DC12/24V 入力	¥43,000	0.12		○	○	○	○	○
	XDC48AH	16点 AC、DC48V 入力	¥51,000	0.12		○	○	○	○	○
	XHS24BH	32点 DC12/24V 入力	¥62,000	0.15		○	○	○	○	○
	(※) XDC12D3H	64点 DC12V 入力	¥75,000	0.30		○	○	○	○	○
	(※) XDC24D3H	64点 DC24V 入力	¥75,000	0.30		○	○	○	○	○
出力モジュール	YRY20AH	16点 AC240V、DC24V 2A接点出力	¥45,000	0.12	0.16	○	○	○	○	○
	YRY20BH	32点 AC240V、DC24V 2A接点出力	¥79,000	0.18	0.285	○	○	○	○	○
	YSR20B2H	32点 AC100～240V 1.7A SSR出力	¥98,000	0.8		○	○	○	○	○
	YTR48AH	16点 DC24/48V 2A (シンク) Tr出力	¥56,000	0.12		○	○	○	○	○
	YTR48BH	32点 DC24/48V 0.7A (シンク) Tr出力	¥65,000	0.18		○	○	○	○	○
	YTR24D3H	64点 DC12/24 0.1A (シンク) Tr出力	¥77,000	0.38		○	○	○	○	○
	YTS48AH	16点 DC24/48V 2A (ソース) Tr出力	¥57,000	0.12		○	○	○	○	○
	YTS48BH	32点 DC24/48V 0.7A (ソース) Tr出力	¥75,000	0.18		○	○	○	○	○
	YTS24D3H	64点 DC12/24V 0.1A (ソース) Tr出力	¥79,000	0.38		○	○	○	○	○
	YDR20AH	16点 AC240V、DC24V 2A独立接点出力	¥56,000	0.12	0.16	○	○	○	○	○
アナログ入力モジュール	XAGV08H	8チャンネル DC0～ +10V 8ビット電圧入力	¥154,000	0.06	0.07	○	○	○	○	○
	XAGC08H	8チャンネル 4～20mA 8ビット電流入力	¥154,000	0.06	0.07	○	○	○	○	○
	XAGV12H	8チャンネル DC－10～ +10V 12ビット電圧入力	¥169,000	0.06	0.17	○	○	○	○	○
	XAGV121H	8チャンネル DC0～ +10V 12ビット電圧入力	¥187,000	0.06	0.17	○	○	○	○	○
	XAGV122H	8チャンネル DC1～ +5V 12ビット電圧入力	¥187,000	0.06	0.17	○	○	○	○	○
	XAGC12H	8チャンネル 4～20mA 12ビット電流入力	¥169,000	0.06	0.19	○	○	○	○	○
アナログ出力モジュール	YAGV08H	4チャンネル DC0～ +10V 8ビット電圧出力	¥151,000	0.07	0.1	○	○	○	○	○
	YAGC08H	4チャンネル 4～20mA 8ビット電流出力	¥151,000	0.07	0.17	○	○	○	○	○
	YAGV12H	4チャンネル DC－10～ +10V 12ビット電圧出力	¥169,000	0.06	0.1	○	○	○	○	○
	YAGV121H	4チャンネル DC0～ +10V 12ビット電圧出力	¥187,000	0.06	0.1	○	○	○	○	○
	YAGV122H	4チャンネル DC1～ +5V 12ビット電圧出力	¥187,000	0.06	0.1	○	○	○	○	○
	YAGC12H	4チャンネル 4～20mA 12ビット電流出力	¥169,000	0.06	0.19	○	○	○	○	○

（注）（※）で64点用モジュール用外部コネクタは付属していません。（推奨品：ヒロセ電機製HIF3BA-40D-2.54C、コネクタピン）またはCBEM-05ほかのケーブルを別途購入ください。

この誌面に掲載の価格には、消費税は含まれておりません。

製品一覧（H-302/702/1002/2002/4010）

品名	型式	仕様	価格 (円)	消費電流 (A)		H-4010	H-2002	H-1002	H-702	H-302
				DC5V	DC24V					
通信機能モジュール	COMM-2H	RS-232C、RS-422各1チャンネル 2スロット幅	¥219,000	0.8		○	○	○	○	○
	(※※) LINK-SH	CPUリンク（同軸）1スロット幅	¥270,000	0.8		○	○	○	○	○
	(※※) OLINK-SH	CPUリンク（光）1スロット幅	¥286,000	0.8		○	○	○	○	○
	(※※) REM-2MSH	リモートI/O（同軸）1スロット幅 親局1,024点	¥305,000	0.6		○	○	○	○	○
	(※※) OREM-2MSH	リモートI/O（光）1スロット幅 親局1,024点	¥305,000	0.9		○	○	○	○	○
	(※※) REM-2LH	リモートI/O（同軸）子局 2スロット幅1,024点	¥360,000	1.6		○	○	○	○	○
	(※※) OREM-2LH	リモートI/O（光）子局 2スロット幅1,024点	¥360,000	1.9		○	○	○	○	○
	(※※) REM-MASH	リモートI/O（同軸）1スロット幅 親局512点	¥172,000	0.6		○	○	○	○	○
	(※※) OREM-MSH	リモートI/O（光）1スロット幅 親局512点	¥172,000	0.9		○	○	○	○	○
	(※※) REM-LOH	リモートI/O（同軸）子局 2スロット幅512点	¥207,000	1.6		○	○	○	○	○
	(※※) OREM-LH	リモートI/O（光）子局 2スロット幅512点	¥207,000	1.9		○	○	○	○	○
	REM-MMH	リモートI/O MINI モジュール（ツイストペア線）親局	¥139,000	0.15		○	○	○	○	○
	REM-LMH	リモートI/O MINI モジュール（ツイストペア線）子局	¥139,000	0.15		○	○	○	○	○
	SIO-H	シリアルI/Oモジュール	¥285,000	1.0		○	○	○	○	○
	LAN-ETH2	イーサネットI/Fモジュール	見積り	1.2		○	○	○	○	○
カウンタモジュール	ELINK-H2	10BASE-T リンクエリア 32kワード+16kビット	¥396,000	1.2		○	○	○	○	○
	XCU001H	1チャンネル高速カウンタ入力 50kHz	¥109,000	0.3	0.1	○	○	○	○	○
	XCU232H	2チャンネル高速カウンタ入力 100kHz、5kHz切換	¥146,000	0.16		○	○	○	○	○
外部配線用ケーブル （64点モジュール1台あたり 2本必要となります。）	CBEM-01	64点モジュール間ケーブル 1m（32点分）	¥30,000	—		○	○	○	○	○
	CBEM-03	64点モジュール間ケーブル 3m（32点分）	¥34,000	—		○	○	○	○	○
	CBEM-05	64点モジュール間ケーブル 5m（32点分）	¥37,000	—		○	○	○	○	○
	CBEM-10	64点モジュール間ケーブル 10m（32点分）	¥49,000	—		○	○	○	○	○
	CBEM-15	64点モジュール間ケーブル 15m（32点分）	¥63,000	—		○	○	○	○	○
その他	LIBAT-H	リチウム電池	¥4,000	—		○	○	○	○	○
	DUMMY-H	I/Oダミーモジュール	¥14,000	—		○	○	○	○	○

（注）（※※）で同軸・光コネクタは付属しておりません。
モジュールは増設ベースには実装できません。
（リモート親局モジュールは、特殊増設ベース（BEU-04H）には実装できます。）

■プログラミングソフトウェア

品名	型式	仕様	価格 (円)
プログラミングソフトウェア	HLW-PCR	ラダー図/命令語エディタ LADDER-EDITOR for Windows 日本語版（CD版）	¥150,000
	HLW-PCRE	ラダー図/命令語エディタ LADDER-EDITOR for Windows 英語版（CD版）	¥150,000
	HLW-PC3L05	LADDER EDITOR for Windows® 日本語版ライセンスパック 5ユーザ	¥400,000
	HLW-PC3L10	LADDER EDITOR for Windows® 日本語版ライセンスパック 10ユーザ	¥600,000
	HLW-PC3L30	LADDER EDITOR for Windows® 日本語版ライセンスパック 30ユーザ	¥1,350,000
	HLW-PC3L50	LADDER EDITOR for Windows® 日本語版ライセンスパック 50ユーザ	¥1,500,000
PC接続ケーブル	WVCB02H	長さ2m（Windowsパソコン用）	¥28,000
	WVCB05H	長さ5m（Windowsパソコン用）	¥34,000

一般仕様 プログラマブルコントローラ本体

項目	仕様
電源電圧	AC100/110/120V（50/60Hz）、AC200/220/240V（50/60Hz）
電源電圧変動範囲	AC85～132V、AC170～264V
使用周囲温度	0～55℃（保存周囲温度－10～75℃）
使用周囲湿度	20～90％RH結露ないこと（保存周囲湿度 10～90％RH結露なきこと）。
耐振動	JIS C 60068-2-6に準拠
耐ノイズ性	○ノイズ電圧 1,500Vp.p. ノイズパルス幅 100ns、1μs…ノイズシミュレータによる。 ○NEMA ICS2-230-42～45による（ただし42.01項は除く）○静電ノイズ金属露出部に3,000V
絶縁抵抗	AC外部端子－ケースアース（FG）端子間 20MΩ以上 DC500Vメガにて
耐電圧	AC外部端子－ケースアース（FG）端子間 AC1500V 1分間
接地	D種専用接地
使用雰囲気	腐食性ガスがないこと、じんあいが多いこと
構造	開放壁取り付け形
冷却	自然空冷

ご採用に際してのご注意

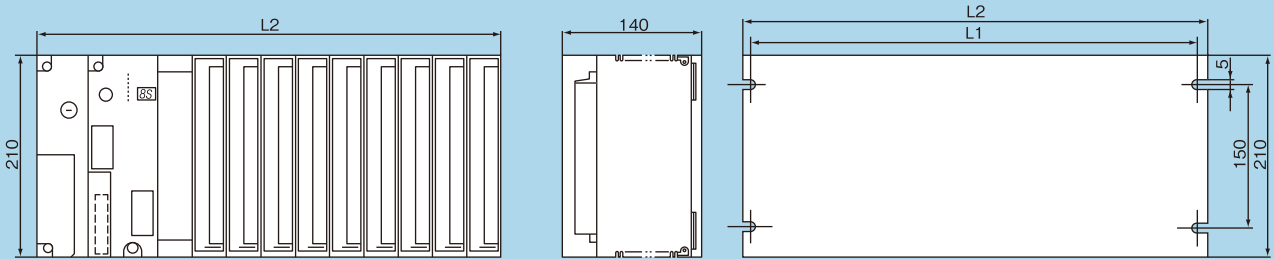
この資料は、製品の代表的な特長機能を説明した資料です。使用上の制約事項、ユニットの組み合わせによる制約事項などがすべて記載されているわけではありません。ご採用にあたりましては、必ず製品のマニュアルをお読みいただきますようお願い申し上げます。

当社の責に帰すことができない事由から生じた損害、当社製品の故障に起因するお客さまでの機械損失、逸失利益、当社の予見の有無を問わず特別の事情から生じた損害、二次損害、事故補償、当社製品以外への損傷および、その他の業務に対する保証については、当社は責任を負いかねます。

この誌面に掲載の価格には、消費税は含まれておりません。

MEMO

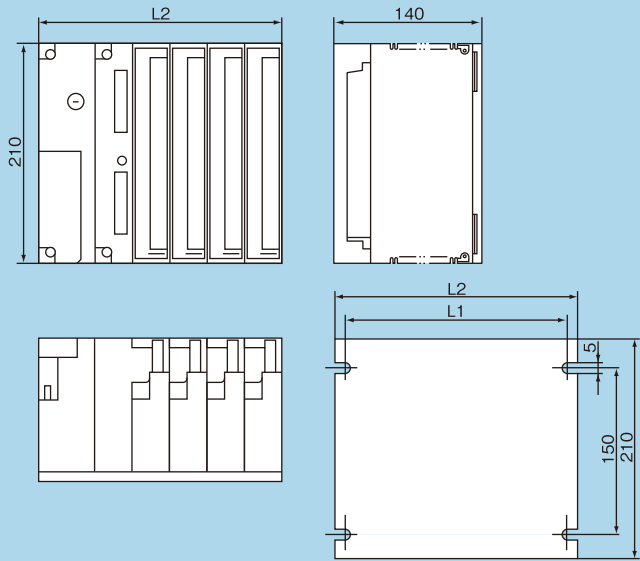
H-302/702/1002/2002/4010用基本ユニット（基本ベースBSU-09H（入出力モジュール9枚実装）での外形図）



(単位：mm)

ベース形式	BSU-09H	BSU-05H	BSU-02H
入出力モジュール用 スロット数	9	5	2
L1	460	318	211.5
L2	480	338	231.5

H-302/702/1002/2002/4010用増設ユニット（増設ベースEXU-04H（入出力モジュール4枚実装）での外形図）



(単位：mm)

ベース形式	EXU-11H	EXU-07H	EXU-04H BEU-04H
入出力モジュール用 スロット数	11	7	4
L1	460	318	211.5
L2	480	338	231.5

Hシリーズ⇒EH-150/EHVシリーズリプレイス支援機器



H-300/700/2000
H-302/702/1002/2002/4010

この先もずっと長く使いたい
設備の延命に

そろそろリプレイスを
検討されませんか

フィールドネットワーク
対応などの機能付加に

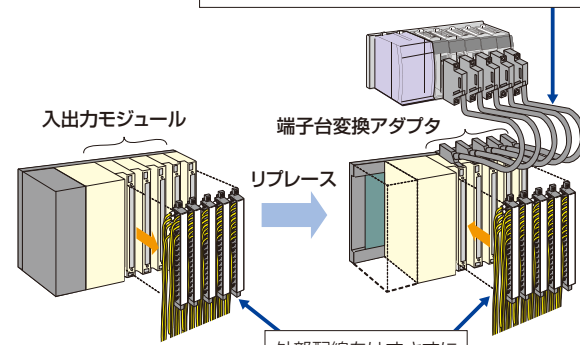


EH-150/EHV

16点・32点入出力モジュール端子台 変換アダプタ

P.35

端子台変換アダプタから接続ケーブルで
EH-150 32点入出力モジュールに接続可能



外部配線はをはずさず
着脱端子台をそのまま
接続可能

10点・32点
I/Oモジュール

64点I/Oモジュール



リモートI/Oモジュール

リモートI/O
MINIモジュール

Hシリーズ互換 光・同軸リモートモジュール

P.37

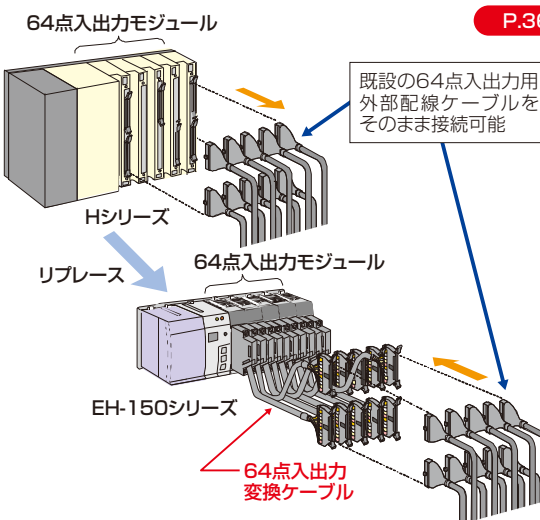
既設配線はそのまま継続使用、リモート子局は
Hシリーズの子局もEH-150シリーズの子局も
混在使用可能

⇒親局・子局単位で段階的にリプレイス可能



64点入出力変換ケーブル

P.36



*64点モジュール1台当たり2本のケーブルが必要です

コンパクトリンク・リモートモジュール (ツイストペアケーブルリンク・リモート)

P.39

既設配線はそのまま継続使用、リモート子局は
Hシリーズの子局もEH-150シリーズの子局
も混在使用可能

⇒親局・子局単位で段階的にリプレイス可能



Hシリーズ互換機能モジュール

SI-505

- ・光・同軸CPUリンクモジュール
- ・Ethernetベース大容量リンクモジュール(ELINK)
- ・高速入力モジュール(16点・32点)
- ・シリアルI/Fモジュール(COMM・SIO)

etc.

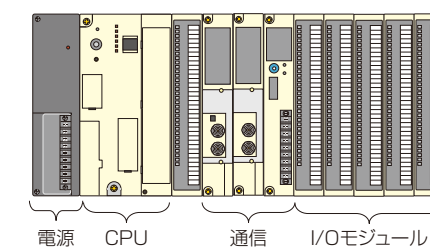
・EH-150/EHVシリーズに関してはEH-150/EHVシリーズカタログ(SI-505)をご覧ください。
・お使いの機器の構成に応じてリプレイスモデルの構成も異なりますので、リプレイスご検討の際はまずは弊社までご相談ください。

ハイブリッド基本・増設・リモートベース

ハイブリッドI/Oコントローラ

●ハイブリッドベース(Hシリーズ寸法互換&EH-150/EHV用モジュール混在可)
Hシリーズのベースと寸法互換。配線工数の大幅な削減と配線ミスリスクの少ないリプレイスが可能です。更にHシリーズのI/Oモジュールが、EH-150/EHVシリーズの各種モジュールと混在して実装できるので、これまでHシリーズでは実現できなかったネットワーク対応などの機能拡張が実現できます。

【基本ベース】



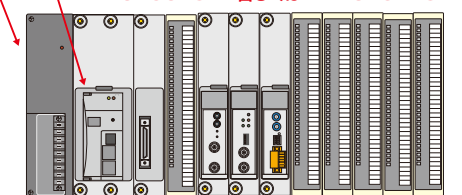
I/Oモジュールは
そのまま継続して使用でき、
CPU・通信・高機能モジュールは
EH-150/EHVへリプレイス可能。

リプレイス

(注1) CPUモジュールはハイブリッド
ベース対応CPUモジュールに
する必要があります。標準品は
ご使用できません。

ハイブリッド基本ベース

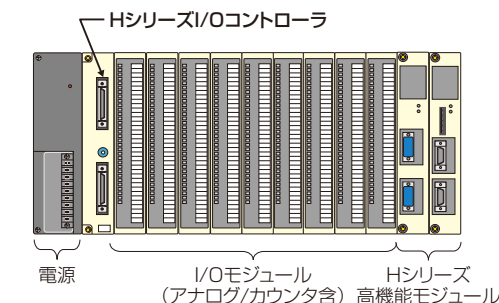
対応CPUモジュール
EH-CPU548RP若しくはEHV-CPU128RP



EH-150/EHV用モジュールは
I/Oアタッチメントを用いて
ハイブリッドベースに実装します。

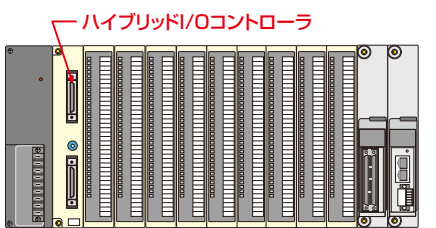
I/Oアタッチメント(AT-IORP)

【増設ベース】



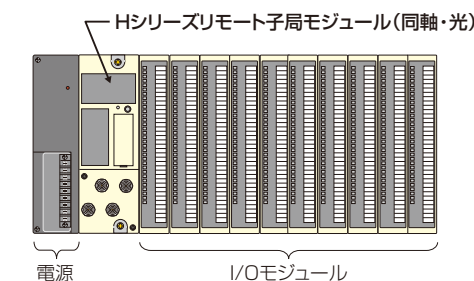
リプレイス

ハイブリッド増設ベース



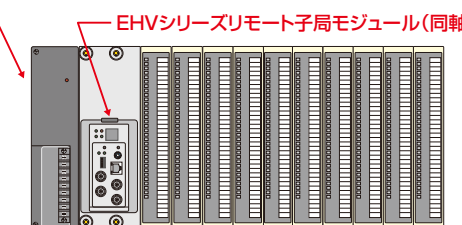
EH-150/EHVシリーズ
高機能モジュール

【リモート(子局)ベース】



リプレイス

ハイブリッドリモートベース



【リプレイスに際してのお願い】

- (1) 電源モジュールには寿命があります。リプレイスの際には新品への交換をお奨めします。
(ハイブリッドI/Oコントローラ・ハイブリッドベースを使用する系にはHシリーズ用電源モジュールを使用します。)
- (2) 使用可能モジュールについても10年を目安に更新をお奨めします。
(使用可能モジュールにつきましては弊社までお問い合わせください。)

●ハイブリッド入出力コントローラ

Hシリーズ→EH-150へのリブレース時、増設ベースの入出力モジュールの配線を外さずにそのまま使用できるため、配線工数の大幅な削減と、配線ミスリスク低減が可能です。

■特長

配線工数の削減、配線ミスリスク低減が可能

Hシリーズ→EH-150へのリブレース時、増設ベースの入出力モジュールをそのまま使用できるため、配線工数の大幅な削減と、配線ミスリスク低減が可能です。

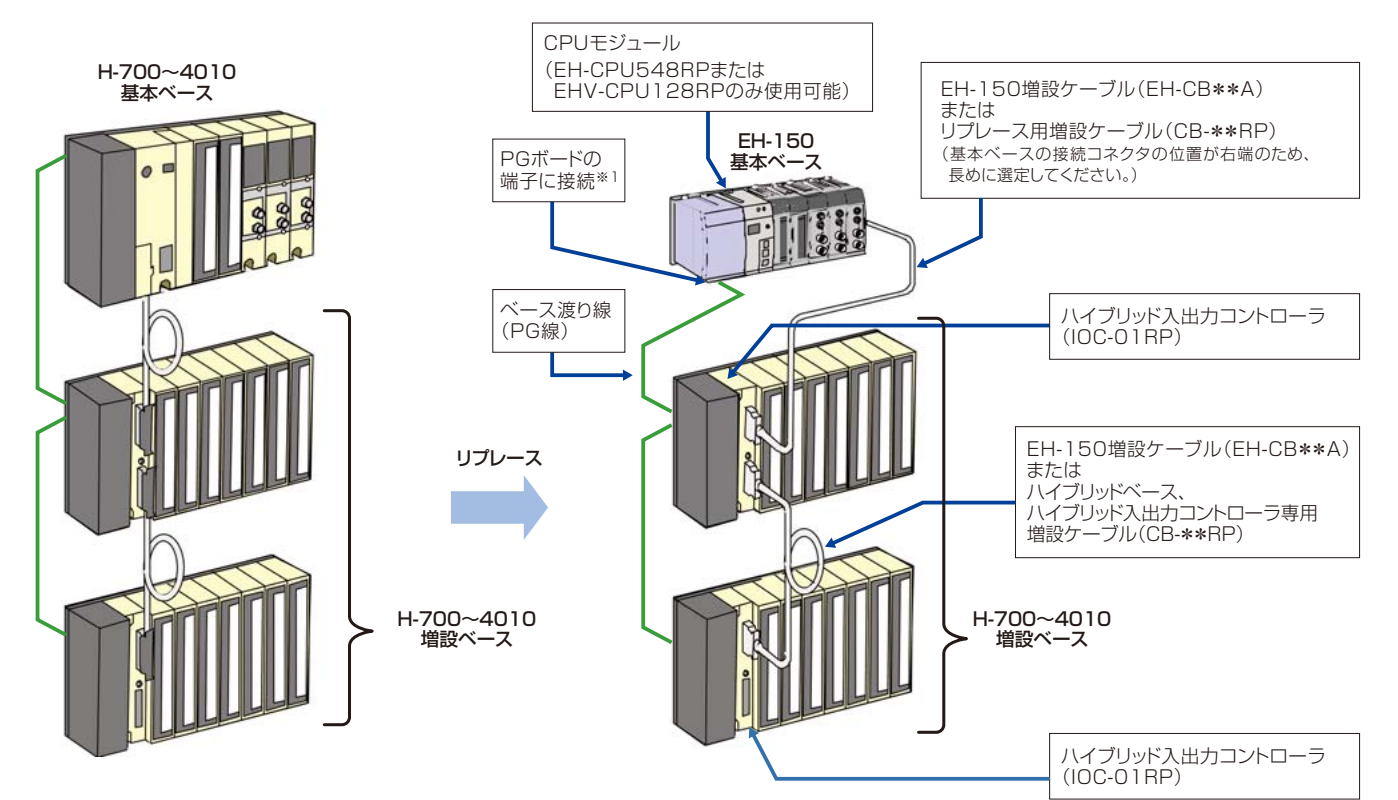
段階的なリブレースが可能

まず基本ユニットをEH-150/EHVへリブレースし、その後増設ユニットをEH-150へリブレースといった段階的なリブレースが可能です。（ハイブリッド入出力コントローラ対応のCPUモジュールをご使用ください。また、このCPUモジュールは通常のEH-150/EHVシステムにもご使用いただけます。なお、H-700～4010用増設ユニットとEH-150用増設ユニットは混在できません。）

プログラムの流用が容易

モジュールの位置等変更がなければ、H-700～4010のプログラムを基本的に高機能モジュール以外のプログラムはそのまま流用して使用が可能です。（EHV-CPU128RPでは、一旦コンバートツールにてコントロールエディタ用プログラムに変換する必要があります）

HシリーズからEH-150/EHVにリブレースする際、基本ベース側をEH-150/EHVに置き換えれば、本入出力コントローラ（IOC-01RP）を使用することで、増設ベース側はHシリーズ増設ベースを使用できます。増設ベース側では、リブレースした入出力モジュールをそのまま使用できるため、再配線の工数が不要となり、配線ミスリスクも低減できます（高機能モジュールなど一部使用できない製品があります）。



- 【リブレースに際してのお願い】
- (1) 電源モジュールは新品への交換をお願いします。
 - (2) 使用可能モジュールについても10年を目安に更新をお奨めします。

■機種一覧表

品名	型式	仕様
CPUモジュール(*2)	EH-CPU548RP	プログラム容量48kステップ、増設4段、0.1μs/命令
	EHV-CPU128RP	プログラム容量128kステップ、増設5段、20ns/命令
ハイブリッドI/Oコントローラ(*1)	IOC-01RP	EH-CPU548RP、EHV-CPU128RPとの組合せ専用
ハイブリッドベース(基本ベース)	BSU-09RP	基本 9スロット、BSU-09Hと寸法互換
	BSU-05RP	基本 5スロット、BSU-05Hと寸法互換
ハイブリッドベース(増設ベース)	EXU-11RP	増設 11スロット、EXU-11Hと寸法互換
	EXU-07RP	増設 7スロット、EXU-07Hと寸法互換
ハイブリッドベース(リモートベース)	RMU-10RP	リモート子局搭載用ベース 10スロット、EXU-11Hと寸法互換
	RMU-06RP	リモート子局搭載用ベース 6スロット、EXU-07Hと寸法互換
	RMU-03RP	リモート子局搭載用ベース 3スロットEXU-04Hと寸法互換
I/Oアタッチメント	AT-IORP	EH-150/EHVシリーズ用モジュールをハイブリッドベースに実装するためのアタッチメント
増設ベース接続ケーブル(*3)	EH-CB05A	ハイブリッドベース、ハイブリッド入出力コントローラ接続用ケーブル 0.5m
	EH-CB10A	ハイブリッドベース、ハイブリッド入出力コントローラ接続用ケーブル 1m
	EH-CB20A	ハイブリッドベース、ハイブリッド入出力コントローラ接続用ケーブル 2m
	CB35RP(*4)	ハイブリッドベース、ハイブリッド入出力コントローラ接続用ケーブル 3.5m
	CB40RP(*4)	ハイブリッドベース、ハイブリッド入出力コントローラ接続用ケーブル 4m

- ※1. ハイブリッドI/Oコントローラ（IOC-01RP）を実装した増設ベース側に使用可能なモジュールはハイブリッドI/Oコントローラの取扱説明書を参照ください。（一部の高性能通信モジュールは実装できません。）また、すべての増設ベースのI/OコントローラをIOC-01HからIOC-01RPにリブレースする必要があります。
- また、ハイブリッドI/Oコントローラ（IOC-01RP）を使用する場合、増設ベースはすべてHシリーズ用増設ベースとしてください。EH-150/EHVの増設ベースとの混在はできません。
- ※2. ハイブリッドI/Oコントローラ（IOC-01RP）を使用したリブレースにおいては基本ベースに使用可能なCPUはEH-CPU548RPまたはEHV-CPU128に限られますのでご注意ください。
- また、基本ベースをEH-150/EHV用ベースに置き換える際、Hシリーズ用基本ベースに接続していたPG線をEH-CPU548RPまたはEHV-CPU128に付属のPGボードにつなぎ換える必要があります。
- このPGボードの装着と配線方法については、EH-CPU548RPまたはEHV-CPU128の取扱説明書を参照ください。
- ※3. 増設ケーブルには2m以下の場合EH-150 EHV用増設ケーブル（EH-CB**A）を、2mを超える場合にはリブレース用増設ケーブル（CB-**RP）を使用します。
- 増設接続ケーブルの長さについては、下記制限を守ってください。
- 【ケーブル長の制限】
- ・総延長: 4m以下
 - ・ベース間
 - 基本増設間: 4m以下
 - 増設増設間: 3.5m以下
- ※4. CB35RP、CB40RPはハイブリッドベース、ハイブリッドI/Oコントローラの専用ケーブルであり、少なくとも一方にハイブリッドI/Oコントローラ（IOC-01RP）を接続する必要があります。EH-150/EHV基本ベースとEH-150/EHV用I/Oコントローラ（EH-IOCH、EH-IOCH2）間や、EH-150/EHV用I/Oコントローラ（EH-IOCH、EH-IOCH2）同士の接続には使用しないでください。

●Hシリーズ16・32点モジュール変換アダプタ

Hシリーズ→EH-150へのリプレース時、既設16・32点モジュールの着脱端子台から配線を外さずに、そのまま接続できる端子台変換アダプタです。配線工数の大幅な短縮と、配線ミスリスク低減が可能です。

■特長

配線工数の削減、配線ミスリスク低減が可能

H-300～4010→EH-150へのリプレース時、既設16・32点モジュールの着脱端子台の配線を外さずにそのまま端子台変換アダプタに接続できるため、配線工数の大幅な短縮と、配線ミスリスク低減が可能です。

制御盤への取付が容易

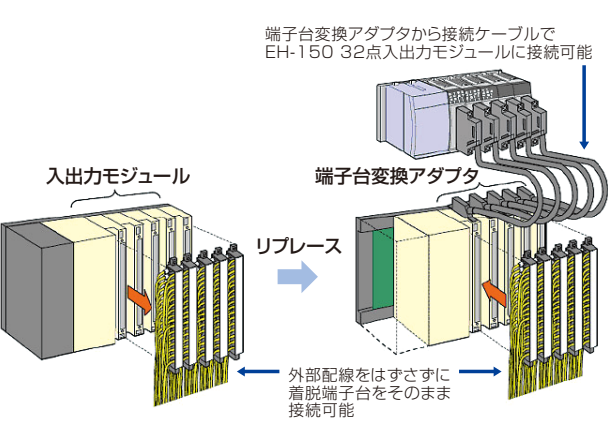
H-300～4010の入出力モジュールと構造が共通のため、既設のベースユニットにそのまま実装でき、穴あけ作業などが不要となります。

長いケーブルで別置き制御盤対応が可能

端子台変換アダプタとEH-150入出力モジュール間の接続ケーブルは最大20mまで品揃えがあるため、盤内にスペースがない場合には、EH-150を内蔵した別置き制御盤を追加し、接続が可能です。（最大ケーブル長は機種により異なります。）

プログラム変更が容易（32点入出力モジュール使用時）

32点入出力モジュール同士のリプレースが可能のため、I/O割付の変更が不要でプログラム変換も容易となります。



■リプレース機種一覧

リプレース対象のHシリーズ型式に合わせて
●端子台変換アダプタ ●EH-150側モジュール ●接続ケーブル
の型式を選定してください。また、リプレース前後の仕様をマニュアル等で十分に確認してください。

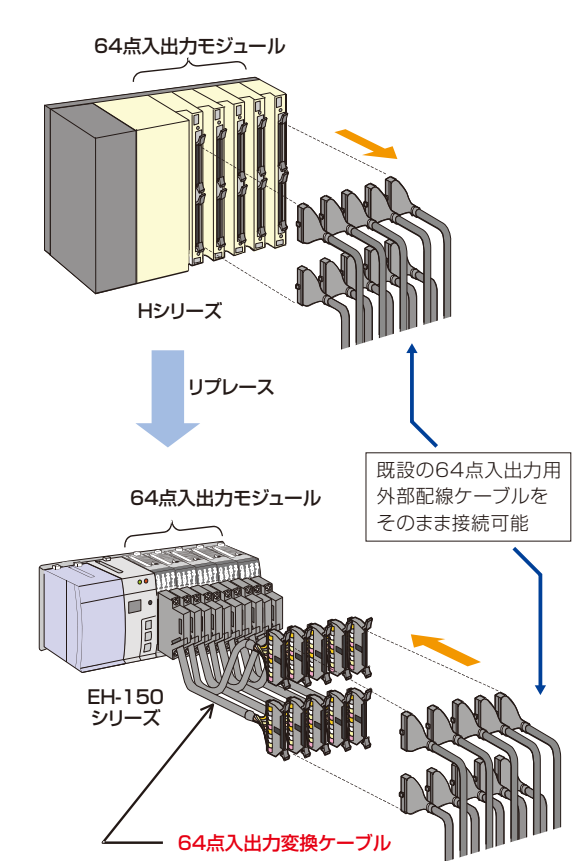
■機種一覧表

端子台変換アダプタ		Hシリーズ型式 (リプレース対象)	EH-150側モジュール 推奨型式	接続ケーブル型式
品 名	型 式			
32点DC24V入力用端子台変換アダプタ	XDC24BRP	XDC24BH	EH-XD32	EH-CB**WA※1
		XHS24BH		
16点DC24V入力用端子台変換アダプタ	XDC24ARP	XDC24AH	EH-XD32※3	EH-CB**WA※1
32点AC100V入力用端子台変換アダプタ	XAC10BRP	XAC10BH	EH-XD32	EH-CB**WA
		XAC10B2H		
32点AC200V入力用端子台変換アダプタ	XAC20BRP	XAC20BH	EH-XD32	EH-CB**WA
32点リレー出力用端子台変換アダプタ	YRY20BRP	YRY20BH	EH-YT32	EH-CB**WA
32点トランジスタ出力用端子台変換アダプタ	YT48BRP	YTR48BH	EH-YT32	EH-CB**WA※1
		YTS48BH	EH-YTP32	EH-CB**WA※1
16点トランジスタ出力用端子台変換アダプタ	YT48ARP	YTR48AH	EH-YT32※3	EH-CB**WA※1
		YTS48AH	EH-YTP32※3	EH-CB**WA※1
16点独立接点リレー出力用変換アダプタ	YDR20ARP	YDR20AH	EH-YT32	EH-CB**WA※1
アナログ入出力用端子台変換アダプタ	XYAGRP	XAGV08H	EH-AX8V EH-AXH8M	EH-CB**A※2
		XAGV121H		
		XAGV122H		
		XAGV12H	EH-AX8H EH-AXH8M	EH-CB**A※2
		XAGC08H		
		XAGC12H		
		YAGV08H	EH-AX8I EH-AXH8M	EH-CB**A※2
		YAGV121H		
		YAGV122H		
		YAGV12H	EH-AY4V EH-AYH8M	EH-CB**A※2
		YAGC08H		
		YAGC12H		
YAGC08H	EH-AY4I	EH-CB**A※2		
YAGC12H			EH-AYH8M	EH-CB**A※2
エンドカバー	CV-ERP	左端に実装される端子台変換アダプタの保護カバー		

※1：この場合の接続ケーブルの長さは既設のI/O配線との合計が30m以下になるように選定してください。
※2：この場合の接続ケーブルの長さは既設のI/O配線（2芯シールド線）との合計が20m以下となるように選定してください。
※3：EH-150側に32点入出力モジュールを選定することで、両端コネクタケーブルを使用でき、ケーブル末端の圧着端子の処理が不要になります。

●Hシリーズ64点入出力変換ケーブル

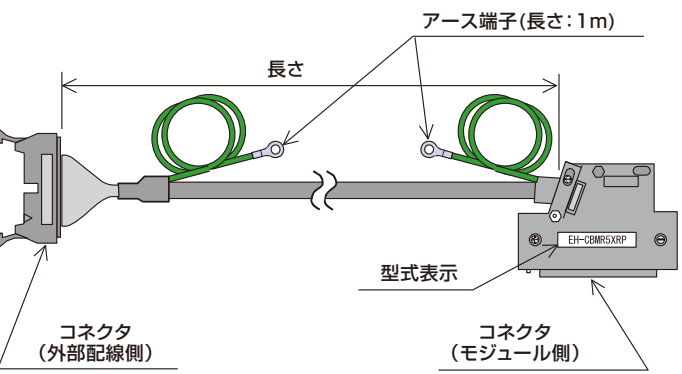
- ①配線工数を削減できるとともに、配線ミスリスクを低減できます。
- ②長いケーブルも品揃えしましたので、別置き制御盤への拡張も可能です。
- ③64点モジュール同士のリプレースなので、I/Oアドレスが変わらずプログラムの修正が必要ありません。



※64点モジュール1台当たり2本のケーブルが必要です。

品名	型式	長さ
64点入力用	EH-CBMR5XRP	0.5m
	EH-CBM01XRP	1.0m
	EH-CBM03XRP	3.0m
	EH-CBM05XRP	5.0m
	EH-CBM10XRP	10.0m

品名	型式	長さ
64点出力用	EH-CBMR5YRP	0.5m
	EH-CBM01YRP	1.0m
	EH-CBM03YRP	3.0m
	EH-CBM05YRP	5.0m
	EH-CBM10YRP	10.0m



Hシリーズ互換リモートモジュール

Hシリーズリモートシステムと互換のEH-150シリーズ用リモート親局/子局モジュール

- ①Hシリーズの既存リモートシステムを段階的に更新可能です。
- ②既設ケーブルもそのまま使用できます。

■特長

Hシリーズ互換

Hシリーズリモートモジュールと互換性があるため、混在させて使用することが可能です。
既設の同軸・光ケーブルを流用できるためケーブルの再配線工事が不要です。

多点数制御

1台の親局に子局は10台まで接続可能で、最大2,048点の外部入出力の制御が可能です。

子局にEthernet通信ポートを標準装備

子局にはEthernet通信ポートを標準装備し、リモート子局に最大4台までプログラミングソフトウェアや、Ethernet対応の表示器が接続できます。

エラーコード表示機能

7セグメントLED搭載により通信状態が容易に判断できます。

出力保持機能

各子局毎に、出力保持設定機能を設けており、プロセス制御にも適用できます。
(本機能は、EH-RMAHとEH-R2LH、または、EH-ORMAHとEH-OR2LHの構成の場合のみ有効となります)

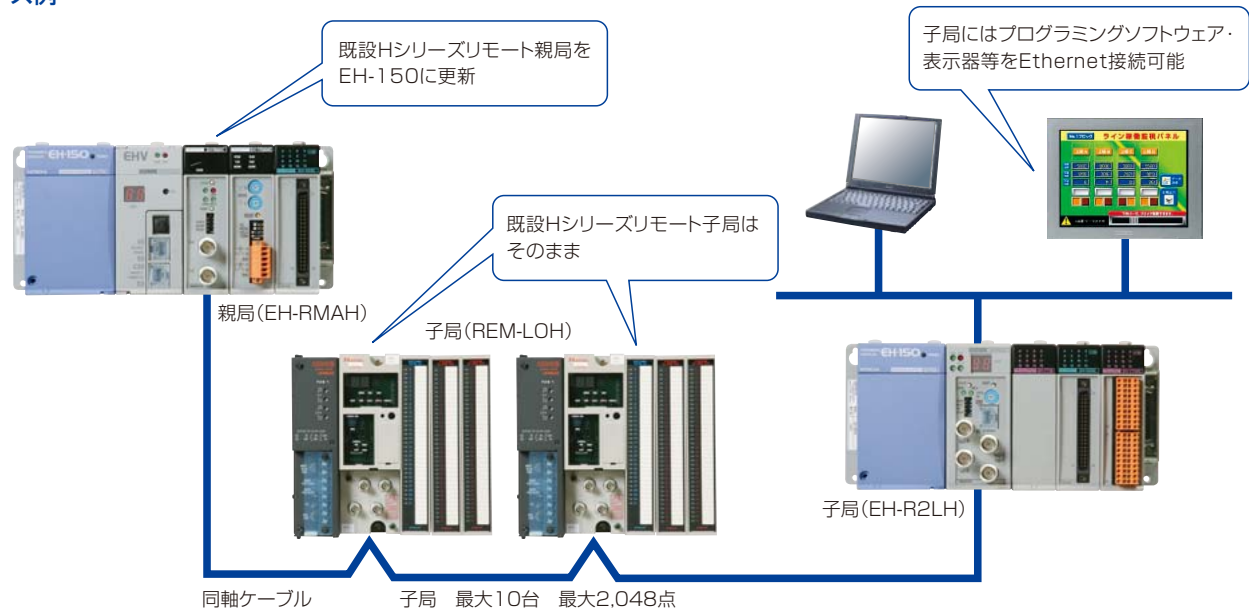
■仕様

項 目		型 式	同軸リモート 親局:EH-RMAH、子局:EH-R2LH 光リモート 親局:EH-ORMAH、子局:EH-OR2LH
機能仕様	使用可能CPU		EH-CPU128RP,EHV-CPU128/64/32/16 (ROM Ver.*117以降)
	搭載および接続台数		リモート親局: MAX 4台/CPU 1台当り リモート子局: MAX 10台/親局1台当り
	最大リモート点数		2,048点/1親局
	リフレッシュ時間		約15ms/2,048点 (子局接続台数10台)
	自己診断		システムROM/RAMチェック、WDTチェック、ループバックチェック
	縮退運転		可能(子局ダウン時に、正常な親局/子局だけでリモート動作を継続可能)
	I/O割付		親局: REMOTE(RMM)、子局: 割付記号なし
伝送仕様	親局実装可能スロット位置		EH-BS**A,EH-BS8R使用時: 基本ベース上の0~7スロット
	伝送速度		1.5Mbps
	伝送方式		半二重シリアル伝送フレーム同期
	フレームフォーマット		HDLCに準拠
	エラーチェック		CRC、タイムアウト、プロトコルチェック
	エラー表示		LED、7セグメント表示器、特殊内部出力
	周辺接続ポート		Ethernet(伝送速度: 10/100 Mbps)
周辺機能	最大メッセージ長		250byte
	通信プロトコル		TCP/IP、UDP/IP
伝送路	論理ポート		4(専用ポート)/1親局: タスクコード通信のみサポート
	接続形態		ディジーチェーン
	ケーブル長	光リモート	局 間: 1km(SGI-185/230使用時) / 500m(CSI-200/220使用時)
			総延長: 10km(SGI-185/230使用時) / 5km(CSI-200/220使用時)
	異常局処理		同軸リモート:局間500m、総延長500m 子局: バイパス方式(但し、光リモートは外部からDC5V給電要)
	ケーブル		光リモート: SGI-185/230(大口径石英ファイバ)/CSI-200/200(多成分ガラスファイバ) 同軸リモート:シールド付同軸ケーブル 5D-2Vシールド付相当
適用コネクタ		光リモート	CA7003(2心)(JIS C5977 F08形(2心)準拠品)
		同軸ケーブル	ケーブル側 BNC-P-5DV相当(ヒロセ製)

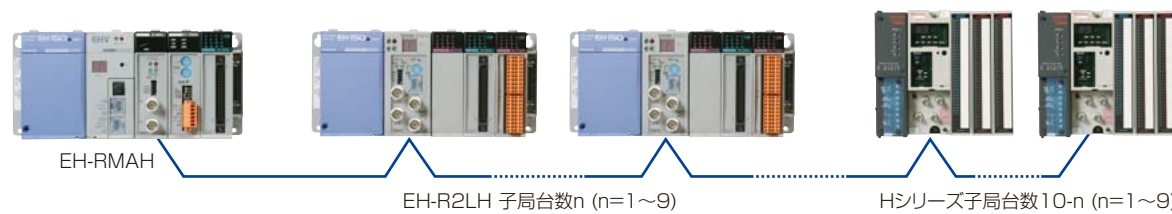
(注1)プログラミングソフトウェア(Control Editor)Ver.2.30以降が必要です。
(注2)光リモートにて、子局が9台以上のシステム構成の場合は、注意事項があります。事前にマニュアルにてご確認ください。

■システム構成

リブレース例

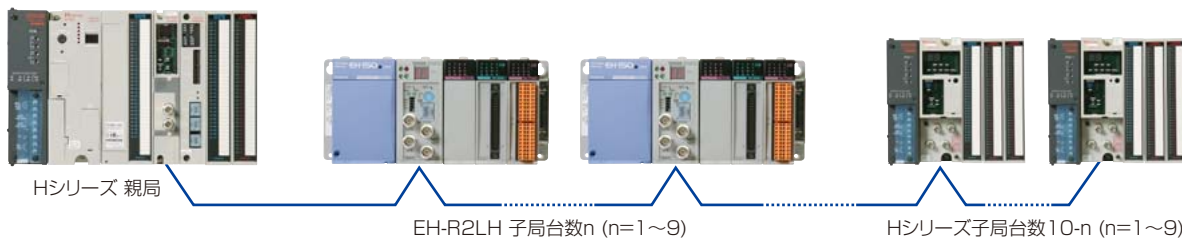


①親局がEH-RMAH(または、EH-ORMAH)の場合



(注)親局をEH-RMAH(または、EH-ORMAH)にリブレース後、子局側をEH-R2LH(または、EH-OR2LH)にリブレースする場合は、親局に近い子局から、または終端子局側から順次リブレース願います。
ランダムにEH-R2LHへリブレースする構成はできません。詳細については、互換リモートのマニュアルをご参照願います。

②親局がHシリーズ(REM-MAH/REM-2MH/REM-MASH/REM-2MSH)の場合



(注1)親局をHシリーズのまま、子局側をEH-R2LHにリブレースする場合は、親局に近い子局から順次リブレース願います。
末端からのEH-R2LHのリブレースまたはランダムにEH-R2LHへリブレースする構成はできません。
(注2)光リモートでは、親局をHシリーズのまま、子局側をEH-OR2LHにリブレースする構成はできません。
親局をEH-ORMAHにリブレースする上記①の構成としてください。

ツイストペアケーブル通信モジュール

安価なツイストペアケーブルでネットワークシステムを実現できる各種モジュールを品揃え
従来機種との混在が可能なので、部分的なリプレイスも可能です。

名 称	型 式		接続可能なモジュール型式		備 考
			EH-150	H-302/702/1002/2002/4010	
コンパクトリモート	親局	EH-TRME2	EH-TRL E2	REM-LMH	
	子局	EH-TRL E2	EH-TRME2	REM-MMH	
互換リモート	子局	EH-RIOTL	EH-TRME2	REM-MMH	互換モードのみとなります
コンパクト/Oリンク	親局	EH-TRLLE	EH-TRLLE	REM-LMH	各局にCPUモジュール必要
	子局	EH-TRLLE	EH-TRLLE	REM-MMH	

■特長

コンパクトリモート(親局:EH-TRME2、子局:EH-TRLE2)

- 最大2,048点/親局、リフレッシュ時間
約46ms(高速モード設定/2,048点時の高速応答)
- 従来機種とのHシリーズのリモートI/O MINIモジュール(親局:REM-MMH、
子局:REM-LMH)と通信互換性があり、既設のケーブルの流用が可能。
また、混在も可能なので、段階的なリプレイス可能。



コンパクトリモート親局モジュール
(EH-TRME2)



コンパクトリモート子局モジュール
(EH-TRLE2)

コンパクトI/Oリンク(EH-TRLLE)

- 最大2,048点のI/Oリンクシステムが可能

I/O割付	リンク接続台数	リンク点数	最大実装台数/CPU(系統)
LINK	最大 12台/系統	64チャンネル(2,048点)/系統	2台/CPU(2系統)
LINK	最大 8台/系統	4チャンネル(128点)/系統 8チャンネル(256点)/系統	2台/CPU(2系統)
X4Y4W/X8W/Y8W	最大 4台/系統	4ワード(64点)/系統	実装制限なし



コンパクトI/Oリンクモジュール
(EH-TRLLE)

MEMO

[illegible]

コンパクトリモートモジュール

安価なツイストペアケーブル通信で、最大2,048点の入出力リモートシステムを実現できます。
従来機種との混在が可能なので、部分的なリブレースも可能です。

- 特長
- 経済性
- 安価なツイストペアケーブルが使用でき、配線を含めたシステム価格が低減できます。
- 入手・取扱いの容易性
- ツイストペアケーブルのため入手しやすく、末端処理などの取り扱いも容易です。

従来機種との互換性

従来機種のHシリーズのリモートI/O MINIモジュール(親局:REM-MMH、子局:REM-LMH)と通信互換性があり、既設のケーブルの流用ができ、EH-150/EHVへのリブレースが容易です。

部分的・段階的リブレース対応

親局/子局とも従来機種との混在が可能なため、部分的なあるいは段階的なリブレースが可能です。
(注意)設定によってはユーザプログラムの変更が必要となります。

入出力保持機能

子局には出力保持機能、親局にはリモート子局からの入力保持機能があり、プロセス制御に適用できます。

通信プログラムや特別なコンフィギュレーションは不要

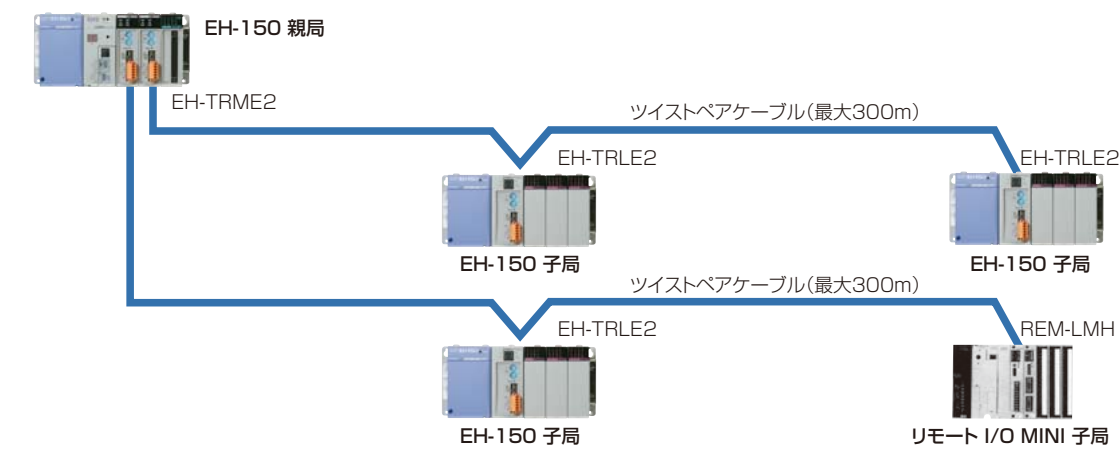
I/O割付を行うだけで使用でき、特別な通信プログラムやコンフィギュレーションは不要です。

応答性

制御点数に応じてリフレッシュ時間が決まるため、小点数時は応答時間が改善されます。

■システム構成例

① EH-150 EHV リモート親局(EH-TRME2)での構成例



③ 大型HシリーズリモートMINI親局(REM-MMH)での構成例



■親局仕様(EH-TRME2)

項 目		仕 様	
機能仕様	使用可能CPU	EH-CPU548RP、EHV-CPU128P、EH-CPU104A/208A/316A/516/548、EHV-CPU16/32/64/128	
	実装可能台数(親局)	MAX 4台/CPU 1台当り(「REMOTE2」、「REMOTE(RMM)」割付時)	
	子局接続台数	MAX 4台/親局1台当り(「X4Y4W」割付時) MAX 8台/親局1台当り(「REMOTE2」「Y8W」「X8W」割付時) MAX 12台/親局1台当り(「REMOTE (RMM)」割付時)	
	入出力点数	128点/親局(「Y8W」「X4Y4W」「X8W」割付時) 1,024点/親局(「REMOTE2」割付時) 2,048点/親局(「REMOTE(RMM)」割付時)	
	リフレッシュ時間	46ms/2,048点(HS:ON 時)、94ms/2,048点(HS:OFF 時)	
	自己診断	SRAMチェック、WDT チェック、ループバックチェック	
	縮退運転※1	可能(子局ダウン時に正常な親局/子局だけでリモート動作を継続可)	
	I/O割付※2	「REMOTE(RMM)」 「REMOTE2」「Y8W」「X4Y4W」「X8W」、子局:割付なし	
	消費電流	約200mA	
伝送仕様	伝送速度	768kbps	
	伝送方式	半二重シリアル伝送、フレーム同期	
	絶縁・変調方式	トランス絶縁、バイポーラパルス変調方式	
	伝送エラーチェック	反転二連送、タイムアウト	
伝送路	エラー表示	LED、特殊内部出力	
	接続形態	マルチドロップ方式	
	ケーブル長※4	局間: 150m(0.3mm ² ケーブル使用時)/ 300m(0.5mm ² 、0.75mm ² ケーブル使用時) 総延長: 150m(0.3mm ² ケーブル使用時)/ 300m(0.5mm ² 、0.75mm ² ケーブル使用時)	
	異常局処理	子局:バイパス方式	
	ケーブル種別	一括シールド付ツイストペア線	
	推奨ケーブル (日立電線製)	既設	0.3mm ² ケーブル:CO-SPEV-SB(A)-1P-0.3SQ(終端抵抗100Ω) 0.75mm ² ケーブル:CO-EV-SX-1P-0.75SQ(終端抵抗150Ω)
		新規	0.3mm ² ケーブル:CO-SPEV-SB(A)-1P-0.3SQLF(終端抵抗100Ω) 0.5mm ² ケーブル:CO-SPEV-SB(A)-1P-0.5SQLF(終端抵抗100Ω)
適用コネクタ(プラグ)		BL3.5/6F(ワイドミューラ製)製品添付	

■子局仕様(EH-TRLE2)

項 目		仕 様
機能仕様	接続可能親局	子局型式:EH-TRLE2 EH-TRME2(互換モード/標準モード)、REM-MMH(互換モード)
	入出力点数	128点/親局(互換モード) 入力:128点、出力:128点/親局(互換モード 圧縮リモート方式) 1,024点/親局(EH-TRME2 「REMOTE2」割付時) 2,048点/親局(EH-TRME2 「REMOTE(RMM)」割付時)
	リフレッシュ時間	46ms/2,048点(HS:ON 時)、94ms/2,048点(HS:OFF 時)
	自己診断	SRAMチェック、WDT チェック、ループバックチェック
	子局ベース実装可能モジュール※3	8点/16点/32点/64点入出力モジュール、ダミーモジュール(I/O 割付:「X16」「X32」「X64」「Y16」「Y32」「Y64」「空き16」) アナログ入出力モジュール(I/O 割付:「X4W」「X8W」「Y4W」「Y8W」など)
	消費電流	200mA
	伝送仕様	伝送速度
伝送方式	半二重シリアル伝送、フレーム同期	
絶縁・変調方式	トランス絶縁、バイポーラパルス変調方式	
伝送エラーチェック	反転二連送、タイムアウト	
エラー表示	LED、特殊内部出力	
伝送路	接続形態	マルチドロップ方式
	ケーブル長※4	局間:150m(0.3mm ² ケーブル使用時)/300m(0.5mm ² 、0.75mm ² ケーブル使用時) 総延長:150m(0.3mm ² ケーブル使用時)/300m(0.5mm ² 、0.75mm ² ケーブル使用時)
	異常局処理	子局:バイパス方式
	ケーブル種類	一括シールド付ツイストペア線
	推奨ケーブル (日立電線製)	既設 0.3mm ² ケーブル:CO-SPEV-SB(A)-1P-0.3SQ(終端抵抗100Ω) 0.75mm ² ケーブル:CO-EV-SX-1P-0.75SQ(終端抵抗150Ω) 新規 0.3mm ² ケーブル:CO-SPEV-SB(A)-1P-0.3SQLF(終端抵抗100Ω) 0.5mm ² ケーブル:CO-SPEV-SB(A)-1P-0.5SQLF(終端抵抗100Ω)
	適用コネクタ(プラグ)	BL3.5/6F(ワイドミューラ製)製品添付

※1. 終端設定したステーションの電源をOFFにしても、他のステーション間の通信動作を継続させる場合には、内蔵終端抵抗を使用せず、終端抵抗を外付けしてください。
※2. 「REMOTE2」「X4Y4W」のI/O割付はコンパクトリモート親局(EH-TRMME)と機能互換の動作モードです。ただし、「REMOTE2」は制御点数が1,024点(64ワード)に拡張されています。
※3. 高機能モジュールおよび通信モジュールは子局ベース上で使用できません。
※4. 接続台数により最大ケーブル長は局間、総延長ともに下記ようになります。

接続台数	0.3mm ² ケーブル使用時	0.5mm ² 、0.75mm ² ケーブル使用時
1～8台	150m	300m
9～12台	130m	260m

使用するCPUモジュール、親局の動作モード設定や接続する子局に応じて、親局のI/O割付を選定してください。
親局の通信動作モードは、モジュール前面のディップスイッチで設定します。

CPU型式	I/O割付	REMOTE(RMM)	REMOTE2 ^{※1}	Y8W	X4Y4W	X8W
EH-CPU104A		—	—	互換モード	互換モード	互換モード
EH-CPU208A		—	—	互換モード	互換モード	互換モード
EH-CPU316A		—	—	互換モード	互換モード	互換モード
EH-CPU516		—	互換モード	互換モード	互換モード	互換モード
EH-CPU548		—	標準モード	互換モード	互換モード	互換モード
EHV-CPU16		標準モード	互換モード	互換モード	互換モード	互換モード
EHV-CPU32		標準モード	標準モード	互換モード	互換モード	互換モード
EHV-CPU64		標準モード	標準モード	互換モード	互換モード	互換モード
EHV-CPU128		標準モード	標準モード	互換モード	互換モード	互換モード

※1. EH-RIOTLは互換モードのみの設定となります。

コンパクトI/Oリンクモジュール

最大2,048点のI/Oリンクシステムが可能
HシリーズリモートI/O MINI(親局:REM-MMH、子局:REM-LMH)

- 特長
- 経済性
モジュールそのものが経済的なだけでなく、安価なツイストペアケーブルが使用でき、配線を含めたシステム価格が低減できます。
- 従来機種との互換性(既設ケーブルが流用可)
従来機種のHシリーズのリモートI/O MINIモジュール(親局:REM-MMH、子局:REM-LMH)と通信互換性があり、既設のケーブルが流用できるためケーブルの再配線工事が不要で、EH-150へのリプレースが容易です。

大規模リンクシステム
リンク点数が64チャンネル(2,048点、最大子局接続台数12台/系統)まで使用でき、大規模I/Oリンクシステムを構築できます。I/OリンクシステムではCPUリンク機能だけでなくリモートI/O機能も備えているため、コンパクトリモート子局モジュール(EH-TRMLE)を同じ系統に混在接続できます。

部分的・段階的リプレースが可能
従来機種との混在が可能なため、リンク系統のユニット単位にリプレースするなど、部分的なあるいは段階的なリプレースが可能です。
(注意)設定によってはユーザプログラムの変更が必要となります。

高速応答・高信頼性
リフレッシュ時間は約10msと高速です。(高速モード(HS:ON)設定、リンク点数64チャンネル転送時)
また、従来から実績のある反転二連送チェックにより、異常な通信データは破棄されるため信頼性の高いリンクシステムが構築できます。

ホールド機能
エラー発生に伴う通信異常時に他局からの受信データをホールドする機能があり、プロセス制御に適用できます。

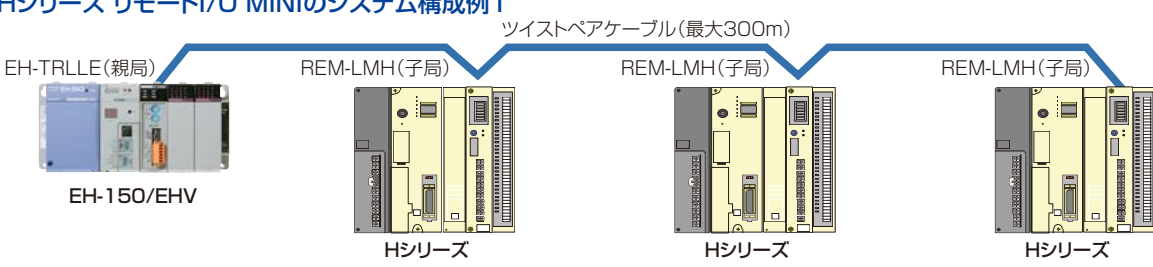
ケーブルの入手性・取扱いの容易性
ツイストペアケーブルのため入手しやすく、末端処理などの取扱いも容易です。

■システム構成例

EH-150/EHVのシステム構成例



Hシリーズ リモートI/O MINIのシステム構成例1



低速モード(HS:OFF)の設定で混在使用できます。

Hシリーズ リモートI/O MINIのシステム構成例2



低速モード(HS:OFF)の設定で混在使用できます。

■仕様

項 目	型 式	EH-TRLLE
機 能 仕 様	実装可能台数	MAX 8台/CPU 1台当たり(LINK割付時)
	子局接続台数	最大12台/系統(REM-MMH/LMH/LH2と接続可)
	リンク点数(注1)	64チャンネル(2,048点)/系統(I/O割付:「LINK」)
	リフレッシュ時間(注2)	約10ms/64チャンネル(12台、HS:ON時)、約22ms/64チャンネル(12台、HS:OFF時)
	自己診断	SRAMチェック、WDTチェック、ループバックチェック
	縮退運転	可能(子局ダウン時に正常な親局/子局だけでリンク動作を継続可)(注3)
	I/O割付	「LINK」「Y8W」「X4Y4W」「X8W」
	消費電流	約270mA
伝 送 仕 様	伝送速度	768kbps
	伝送方式	半二重シリアル伝送、フレーム同期
	絶縁・変調方式	トランス絶縁、バイポーラパルス変調方式
	伝送エラーチェック	反転二連送、タイムアウト
	エラー表示	LED、特殊内部出力
伝 送 路	接続形態	マルチドロップ方式
	ケーブル長	局 間:150m(0.3mm ² ケーブル使用時) / 300m(0.5mm ² 、0.75mm ² ケーブル使用時) 総延長:150m(0.3mm ² ケーブル使用時) / 300m(0.5mm ² 、0.75mm ² ケーブル使用時)
	異常局処理	バイパス方式
	ケーブル(注4)	一括シールド付ツイストペア線 推奨品(既設品):CO-SPEV-SB(A)-1P-0.3SQ / CO-EX-SX-1P-0.75SQ(日立電線製) 推奨品(新規):CO-SPEV-SB(A)-1P-0.3SQLF / CO-SPEV-SB(A)-1P-0.5SQLF(日立電線製)
	適用コネクタ(プラグ)	BL3.5/6F(ワイドミューラ製) 製品添付

(注1) I/Oリンクシステムではリンク点数をチャンネル数で表します。1チャンネルは2ワード(32点分)となります。
(注2) リフレッシュ時間はリンクモジュール側の伝送データリフレッシュ時間です。
(注3) 終端設定したステーションの電源をOFFにしても、他のステーション間の通信動作を継続させる場合には、内蔵終端抵抗を使用せず、終端抵抗を外付けしてください。
(注4) ケーブルは推奨品を使用してください。推奨品でないケーブルを使用する場合はコンパクトI/Oリンクのマニュアルを参照し、ケーブルを選定してください。

日立産機システム プログラマブルコントローラの製品ラインアップ

■製品一覧(Hシリーズ⇒EH-150/EHVシリーズリプレース支援機器)

品 名	型 式	仕 様	価格(円)	消費電流(DC 5V)
CPUモジュール	EH-CPU548RP	プログラム容量48kステップ、増設4段、0.1μs/命令	237,800	0.4A
	EHV-CPU128RP	プログラム容量128kステップ、増設5段、20ns/命令	386,000	0.75A
ハイブリッドI/Oコントローラ	IOC-01RP	EH-CPU548RP、EHV-CPU128RPとの組合せ専用	87,500	0.22A
ハイブリッドベース (基本ベース)	BSU-09RP	基本 9スロット、BSU-09Hと寸法互換	92,000	－
	BSU-05RP	基本 5スロット、BSU-05Hと寸法互換	67,000	－
ハイブリッドベース (増設ベース)	EXU-11RP	増設 11スロット、EXU-11Hと寸法互換	84,000	－
	EXU-07RP	増設 7スロット、EXU-07Hと寸法互換	59,000	－
ハイブリッドベース (リモートベース)	RMU-10RP	リモート子局搭載用ベース 10スロット、EXU-11Hと寸法互換	84,000	－
	RMU-06RP	リモート子局搭載用ベース 6スロット、EXU-07Hと寸法互換	59,000	－
	RMU-03RP	リモート子局搭載用ベース 3スロットEXU-04Hと寸法互換	39,000	－
I/Oアタッチメント	AT-10RP	EH-150/EHVシリーズ用モジュールをハイブリッドベースに実装するためのアタッチメント	5,000	－
増設ベース接続ケーブル	EH-CB05A	増設ベース(IOC-01RP)接続用ケーブル 0.5m	13,000	－
	EH-CB10A	増設ベース(IOC-01RP)接続用ケーブル 1m	16,100	－
	EH-CB20A	増設ベース(IOC-01RP)接続用ケーブル 2m	21,000	－
	CB35RP(*4)	増設ベース(IOC-01RP)接続用ケーブル 3.5m	26,200	－
	CB40RP(*4)	増設ベース(IOC-01RP)接続用ケーブル 4m	27,900	－
Hシリーズ 32点リプレース用 変換アダプタ	XDC24BRP	XDC24BH、XHS24BH リプレース用 32点スルータイプ	34,700	－
	XDC24ARP	XDC24AH リプレース用 16点スルータイプ	24,500	－
	YT48BRP	YTR48BH、YTS48BH リプレース用 32点 スルータイプ	37,100	－
	YT48ARP	YTR48AH、YTS48AH リプレース用 16点スルータイプ	29,400	－
	XYAGRP	XAG***H、YAG***H リプレース用 8/4chスルータイプ	34,700	－
	YRY20BRP	YRY20BH リプレース用 32点リレー出力タイプ	52,000	－
	XAC10BRP	XAC10B2H、XAC10BH リプレース用 32点AC入力タイプ	46,400	－
	XAC20BRP	XAC20BH リプレース用 32点AC入力タイプ	53,200	－
	YDR20ARP	YDR20AHリプレース用 16点スルータイプ	51,800	－
	CV-ERP	端子台変換アダプタ用エンドカバー	2,800	－
Hシリーズ 32点リプレース用 変換アダプタ用 ケーブル	EH-CBMR5WA	変換アダプタ接続ケーブル両端コネクタ 0.5m	6,800	－
	EH-CBM01WA	変換アダプタ接続ケーブル両端コネクタ 1m	7,500	－
	EH-CBM02WA	変換アダプタ接続ケーブル両端コネクタ 2m	9,500	－
	EH-CBM03WA	変換アダプタ接続ケーブル両端コネクタ 3m	11,000	－
	EH-CBM05WA	変換アダプタ接続ケーブル両端コネクタ 5m	12,000	－
	EH-CBM10WA	変換アダプタ接続ケーブル両端コネクタ 10m	15,000	－
	EH-CBM20WA	変換アダプタ接続ケーブル両端コネクタ 20m	24,000	－
	EH-CBMR5A	変換アダプタ接続ケーブル片端コネクタ 0.5m	6,800	－
	EH-CBM01A	変換アダプタ接続ケーブル片端コネクタ 1m	7,500	－
	EH-CBM02A	変換アダプタ接続ケーブル片端コネクタ 2m	9,500	－
	EH-CBM03A	変換アダプタ接続ケーブル片端コネクタ 3m	11,000	－
	EH-CBM05A	変換アダプタ接続ケーブル片端コネクタ 5m	12,000	－
	EH-CBM10A	変換アダプタ接続ケーブル片端コネクタ 10m	15,000	－
	EH-CBM20A	変換アダプタ接続ケーブル片端コネクタ 20m	24,000	－
	EH-CBMR5XRP	64点入力モジュール用変換ケーブル(32点分) 0.5m	9,600	－
Hシリーズ 64点入力モジュール 変換ケーブル	EH-CBM01XRP	64点入力モジュール用変換ケーブル(32点分) 1m	10,500	－
	EH-CBM03XRP	64点入力モジュール用変換ケーブル(32点分) 3m	12,000	－
	EH-CBM05XRP	64点入力モジュール用変換ケーブル(32点分) 5m	13,500	－
	EH-CBM10XRP	64点入力モジュール用変換ケーブル(32点分) 10m	17,000	－
	EH-CBMR5YRP	64点出力モジュール用変換ケーブル(32点分) 0.5m	9,600	－
Hシリーズ 64点出力モジュール 変換ケーブル	EH-CBM01YRP	64点出力モジュール用変換ケーブル(32点分) 1m	10,500	－
	EH-CBM03YRP	64点出力モジュール用変換ケーブル(32点分) 3m	12,000	－
	EH-CBM05YRP	64点出力モジュール用変換ケーブル(32点分) 5m	13,500	－
	EH-CBM10YRP	64点出力モジュール用変換ケーブル(32点分) 10m	17,000	－

・本ページ記載以外のEH-150/EHVシリーズ用モジュール類に関してはEH-150/EHVシリーズカタログ(SI-505)をご覧ください。
・お使いの機器の構成に応じてリプレースモデルの構成も異なりますので、リプレースご検討の際は弊社までご相談ください。

この紙面に記載の価格には、消費税は含まれておりません。



プログラミング
ソフトウェア



ラダーエディタ
(LADDER EDITOR for Windows®)



コントロールエディタ
(Control Editor)



CODESYS
(EHV-CODESYS)

オールインワンタイプ
PLC



MICRO-EH シリーズ



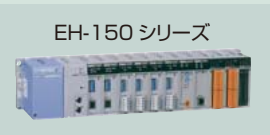
MICRO-EHV シリーズ



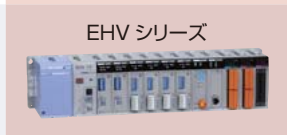
MICRO-EHV+ シリーズ

増設ユニットは共用

モジュールタイプ
PLC



EH-150 シリーズ



EHV シリーズ



EHV+ シリーズ

I/O モジュールは共用

モジュールタイプ
PLC



H-4010
H-302/702/1002/2002

Webコントローラ



■個別製品カタログ一覧

製 品 名	内 容 ・ 用 途	カタログNo.
EH-150/EHVシリーズ	信頼と実績のHシリーズのDNAを引き継ぎ、さらに進化を続けるハイエンドPLC	SI-505*
MICRO-EHVシリーズ	Ethernet通信ポート/USBメモリ機能標準装備(高機能版)のコンパクトPLC	SI-499*
MICRO-EHシリーズ	コンパクトなボディに多彩な機能を搭載。小規模制御用	SI-481*
Hシリーズ	愛され続けて25年以上。小～大規模制御用	SI-441*
Webコントローラ	Webサーバ、メール送信機能を備えたプログラマブルコントローラ	SI-451*
プログラマブル表示器	先進のFAシステム環境づくりを支援	SI-508*
EHV+シリーズ	国際標準規格IEC61131-3準拠 モジュールタイプPLC	SI-E125*
MICRO-EHV+シリーズ	国際標準規格IEC61131-3準拠 オールインワンタイプPLC	SI-E128*

・Microsoft、Windows98、Windows 2000、Windows XP、Windows7は、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
・Ethernetは、米国Xerox Corp.の登録商標です。
・DeviceNetは、ODVA(Open DeviceNET Vendor Association)の登録商標です。
・Modbusは、Modicon Inc. (Schneider Automation International)の登録商標です。
・その他、記載の会社名、製品名は、それぞれの会社の商標または登録商標です。

技術的なお問い合わせ先:

FA相談室

電話フリーダイヤル・・・ ☎0120-46-3444 / FAX電話(0254)46-3321

携帯電話の方は (0254) 46-3444をご利用ください。

Eメールアドレス・・・ fa_plc@hitachi-ies.co.jp

ご利用時間帯・・・ 月～金 9:00～12:00/13:00～18:00

(ただし、祝日、当社休日は除く)

http://www.hitachi-ies.co.jp/plc

日立産機 PLC

検索





安全に関するご注意

- 安全のため、ご使用の際は、「取扱説明書」、「マニュアル」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- ご使用環境については、カタログ、取扱説明書、マニュアルに記載されている範囲内とします。高温、多湿、じんあい、腐食性ガス、振動、衝撃などの多い環境で使用しないでください。火災、故障、感電、誤動作の原因となることがあります。
- 安全のため、製品の取り付け、配線も取扱説明書、マニュアルに従ってください。接続は、電気工事・電気配線などの専門技術を有する人が行ってください。異物の混入にもご注意ください。
- 本カタログに記載された製品は、使用用途・場所などを限定するもの、定期点検を必要とするものがあります。お買い上げの販売店または当社にご確認ください。
- 本製品は、厳重な品質管理のもとに製造しておりますが、製品が故障することにより人命にかかわるような重要な設備および重大な損失の発生が予測される設備へのご使用に際しては、重大事故にならないように安全装置の設置を行ってください。

45

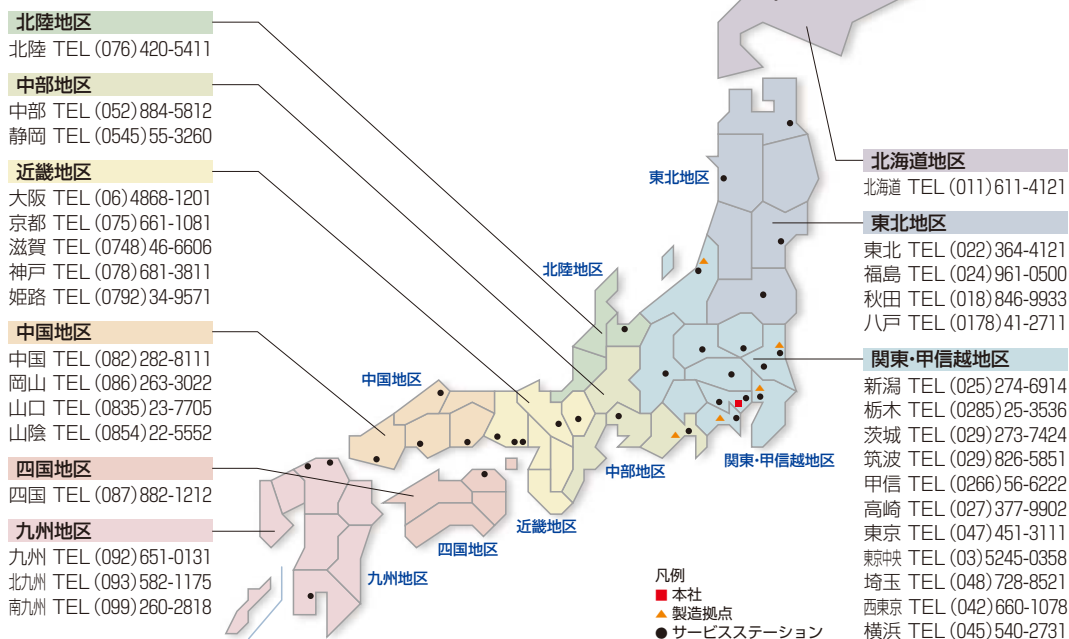
46

環境・省エネに貢献する
株式会社 日立産機システム

お問い合わせ営業窓口

本社・営業統括本部	〒101-0022	東京都千代田区神田練堀町3番地(AKSビル)	TEL (03) 4345-6041
関東地区窓口	〒101-0022	東京都千代田区神田練堀町3番地(AKSビル)	TEL (03) 4345-6045
北日本支社	〒985-0843	宮城県多賀城市明月2丁目3番2号	TEL (022) 364-2710
北海道支店	〒063-0814	北海道札幌市西区琴似四条一丁目1番30号	TEL (011) 611-1224
福島支店	〒963-8041	福島県郡山市富田町字町西32番2号	TEL (024) 961-0500
北陸支社	〒939-8205	富山県富山市新根塚町一丁目4番43号	TEL (076) 420-5711
中部支社	〒456-8544	愛知県名古屋市熱田区桜田町16番17号	TEL (052) 884-5811
関西支社	〒660-0806	兵庫県尼崎市金楽寺町一丁目2番1号	TEL (06) 4868-1230
四国支店	〒761-8012	香川県高松市香西本町142番地5号	TEL (087) 882-1192
中国支社	〒735-0029	広島県安芸郡府中町茂陰一丁目9番20号	TEL (082) 282-8112
九州支社	〒812-0051	福岡県福岡市東区箱崎ふ頭五丁目9番26号	TEL (092) 651-0141
エンジニアリング事業本部	〒101-0022	東京都千代田区神田練堀町3番地(AKSビル)	TEL (03) 4345-6023
海外営業企画部	〒101-0022	東京都千代田区神田練堀町3番地(AKSビル)	TEL (03) 4345-6529

サービスステーションを中心に、
行き届いた保守・サービス活動を行っています。



<http://www.hitachi-ies.co.jp>

信用と行き届いたサービスの当社へ



登録番号: JQA-EM5428
登録日: 1997年7月29日

日立産機システム中条事業所は、環境マネジメントシステムの国際規格ISO14001の認証を取得しています。



登録番号: JQA-1000
登録日: 2002年12月13日

日立産機システム中条事業所は、本カタログに掲載されているプログラマブルコントローラの品質保証に関する国際規格ISO9001の認証を取得しています。

●このカタログに掲載した内容は、予告なく変更することがありますのでご了承ください。

SI-441Y 2015.5

Printed in Japan(H)